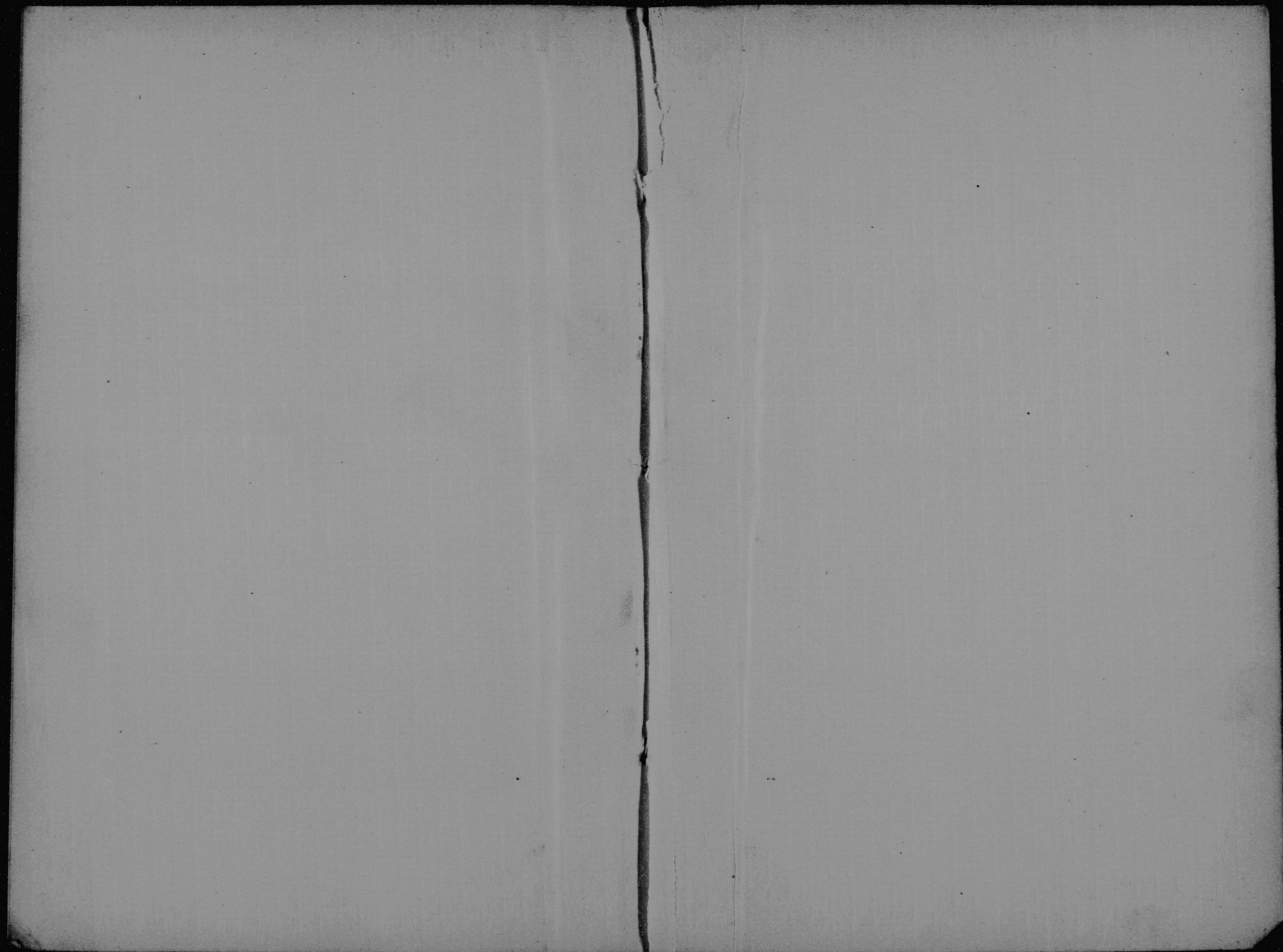


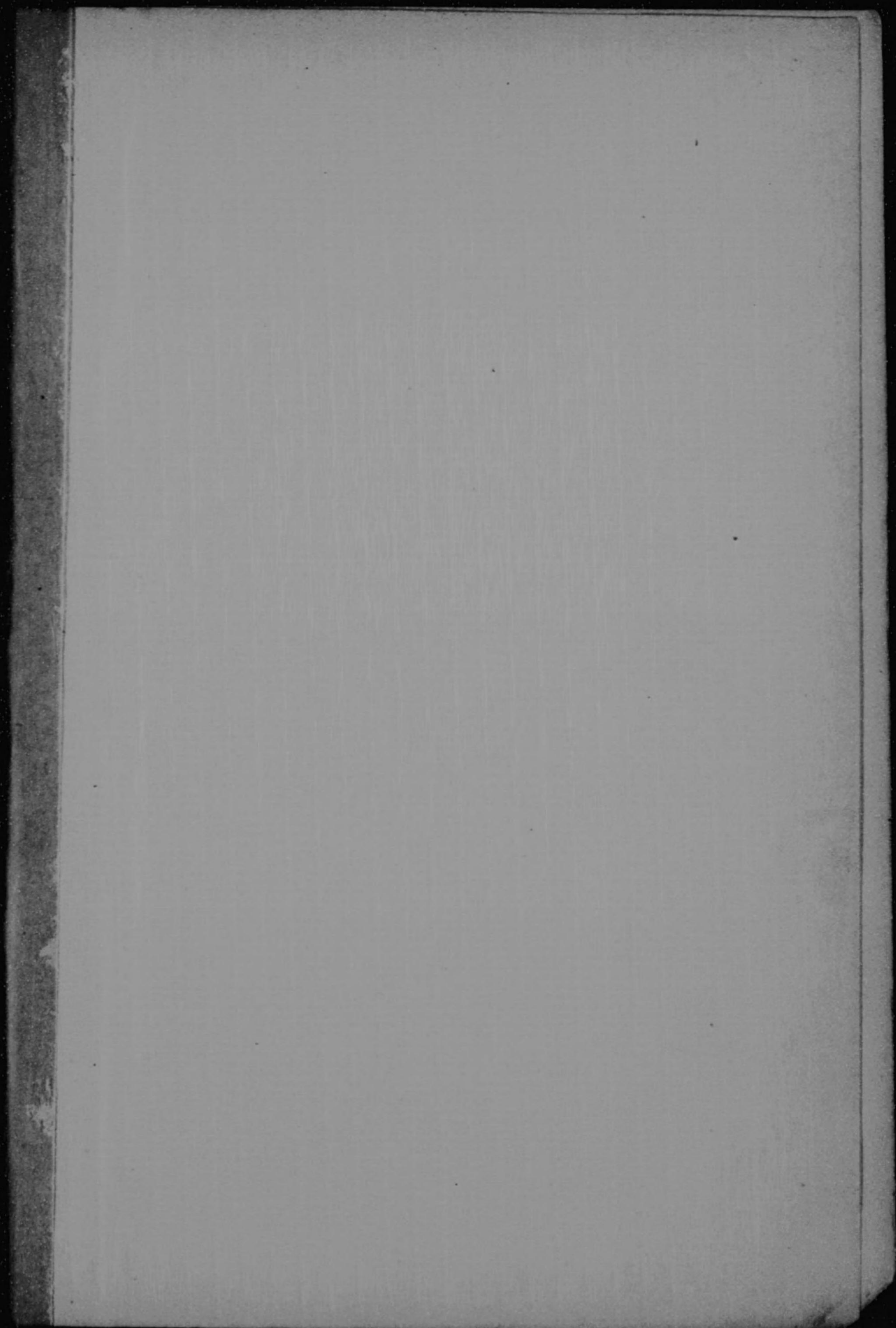
291
別庫
72

三重高等農林学校一覽
昭和五年度

三重高等農林學校一覽

昭和五年度







校 舍 全 景



實 驗 農 場

三重高等農林學校一覽

昭和五年度

目次

發行所寄贈本



291-72

第一	改革	第一
第二	學年	第二
第三	法	第三
第四	令	第四
第五	令	第五
第六	令	第六
第七	令	第七



目次

一

八、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件	二四
九、實業學校教員養成規程	二五
十、文部省直轄實業專門學校委託生規程	二七
十一、文部省直轄諸學校外國人特別入學規程(抄)	二八
十二、臺灣朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件	二九
第四 規 則	二九
一、三重高等農林學校規則	二九
第五 細 則	五七
一、事務規程	五七
二、物品會計細則	六五
三、圖書館規程	七八
四、總代規程	八五
五、學生制服規程	八六

六、寄宿舍規程	九二
七、寄宿舍料規程	九七
八、授業料徵收規程	九九
九、通學生規程	一〇〇
十、非常警備及手配規程	一〇一
十一、外國人特別入學細則	一一
十二、校旗規程	一一三
第六 職 員	一二四
第七 學 生	一二三
一、學生氏名	一二三
二、學生數	一二四
三、地方別學生數	一二四
第八 卒業者	一二六

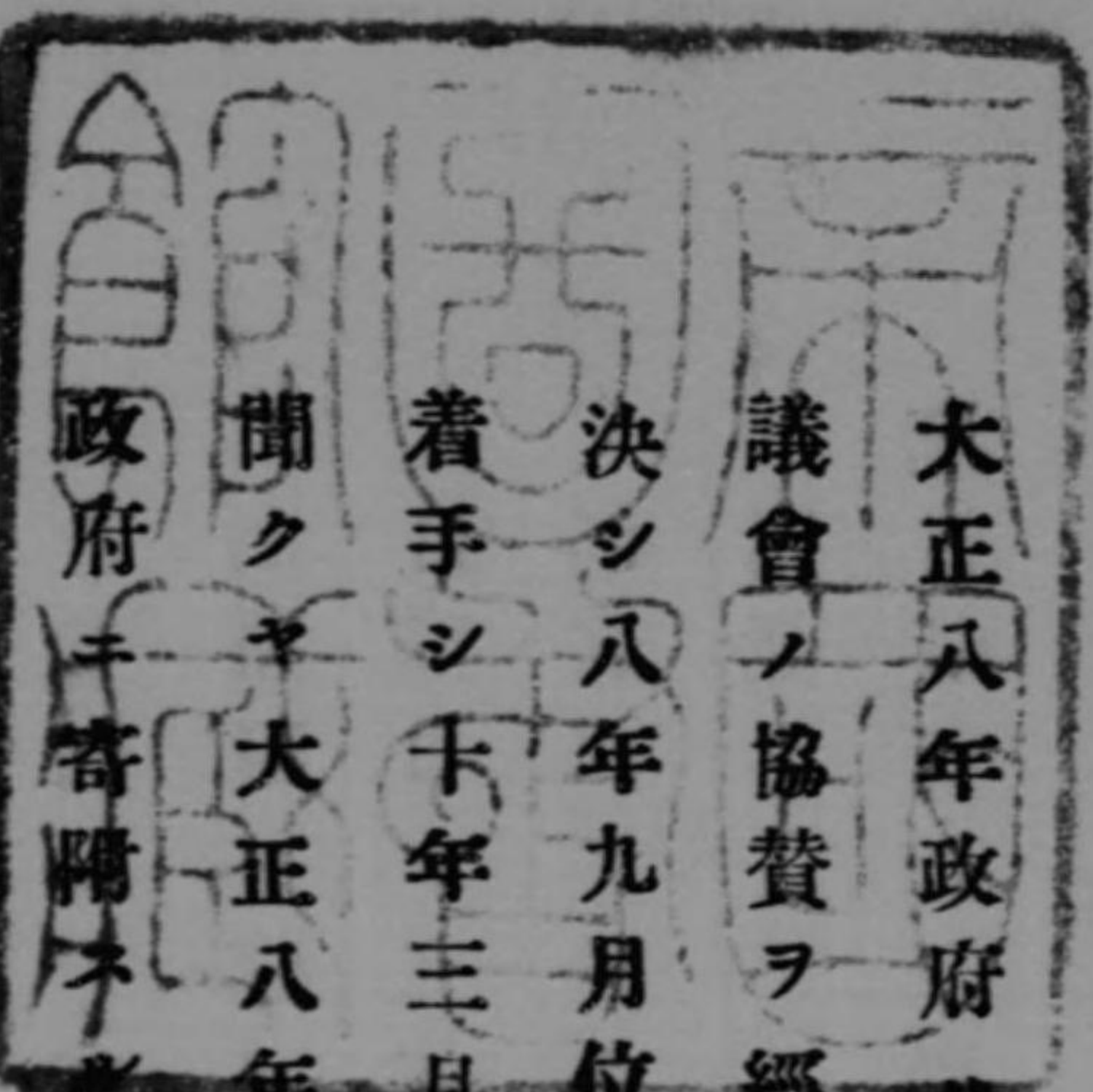
第九 敷地建物

附録

校友會規則

校友會基本金規則

第一 沿革



大正八年政府 高等教育機關創設及擴張ノ計畫ヲ樹テ第四十一帝國
 議會ノ協賛ヲ經其一トシテ高等農林學校ヲ三重縣下ニ設置スルニ
 決シ八年九月位置ヲ津市上濱町ニ定ム次テ敷地ノ買收竝地上工事ニ
 着手シ十年三月其ノ工ヲ終フ之ヨリ先三重縣ハ本校設置ノ議アルヲ
 聞クキ大正八年七月臨時縣會ヲ開キ創立費ニ對シ四拾四萬五千圓ヲ
 政府ニ寄附スルコトヲ議決シ九年三月其ノ手續ヲ了ス大正十年八月
 本館其ノ他附屬校舍ノ新築工事ニ着手ス爾來沿革ノ大要ヲ舉クレハ
 左ノ如シ

大正十年

十二月十日 勅令第四百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改
 正ヲ加ヘ本校ノ設置ヲ公布セララル

十二月十日 勅令第四百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正ヲ加ヘ本校ノ職員定員ヲ校長一人、教授五人、助教授二人、書記四人ト定メラル

同月同日 文部事務官兼東京高等師範學校教授上原種美本校々長ニ任セララル

同月廿二日 文部省告示第五百七號ヲ以テ本校ノ位置ヲ三重縣津市上濱町ニ定メ大正十一年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示セララル

同月同日 文部省告示第五百十二號ヲ以テ本校ノ事務ハ當分ノ間文部省内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ文部省修文館ニ於テ事務ヲ開始ス

同月廿五日 雨天體操場及本館附屬建物新築竣工ス

大正十一年

一月十二日 文部省令第一號ヲ以テ本校規程ヲ公布セララル

一月十六日 本校規則ヲ制定ス

同月十七日 文部省告示第十一號ヲ以テ實業學校卒業生(但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校卒業生ニシテ志望學科ト同種類ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル)ヲ本校ノ入學ニ關シ中學校卒業生ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セララル

三月十四日 文部省告示第百六十三號ヲ以テ本校ノ事務ハ三月十六日ヨリ三重縣津市上濱町本校内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ雨天體操場ヲ以テ臨時事務所ニ充ツ

四月一日 大正十一年度入學志願者三百二十名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月五日 本館新築工事完成シ雨天體操場ヨリ事務所ヲ移轉ス

四月八日 寄宿舎並其ノ附屬建物新築竣工ス
同月廿二日 第一回入學式ヲ舉行ス
同月廿五日 始業式ヲ舉行ス
同月廿六日 授業ヲ開始ス
同月廿九日 勅令第二百四十二號ヲ以テ本校職員定員中教授五人ヲ
九人ニ、助教授二人ヲ七人ニ改正セラル
五月十日 本校實驗農場初耕式ヲ舉行ス
七月二日 鎌田文部大臣來校視察セラル
十月三日 教育ニ關スル勅語謄本及戊申詔書謄本ヲ下賜セラル
十二月廿八日 養蠶室及農場建物新築竣工ス

大正十二年

二月廿八日 實驗室新築竣工ス
三月廿八日 運動場工事竣工ス

三月三十日 大正十二年度入學志願者四百六十六名中ヨリ農學科、農
業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス
四月十二日 第二回入學式ヲ舉行ス
五月八日 勅令第二百二十九號ヲ以テ本校職員定員中教授九人ヲ十
五人ニ、助教授七人ヲ十人ニ、書記四人ヲ五人ニ改正セラル

大正十三年

三月三十日 講堂、畜舎其ノ他五棟新築竣工ス
四月一日 大正十三年度入學志願者二百八十三名中ヨリ農學科四十
二名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス
四月十五日 第三回入學式ヲ舉行ス
五月十六日 勅令第三百三十三號ヲ以テ本校職員定員中教授十五人ヲ
十八人ニ、助教授十人ヲ十二人ニ、書記五人ヲ六人ニ改正セラル
六月二十日 圖書館、書庫、武道場、農業機械室其ノ他五棟新築竣工ス

- 八月十五日 酪農室、燻蒸室外二棟新築竣工ス
- 八月十九日 實驗農場ハ從來灌漑排水ノ便ヲ缺キ加フルニ損害亦尠カラサリシヲ以テ耕地ノ根本的整理改良ヲ企テ本年三月二十三日其ノ工事ニ着手灌漑排水、電動裝置外十六點ノ施設ヲ竣成ス
- 十月廿六日 中橋前文部大臣來校視察セララル
- 十一月一日 本校開校式ヲ舉行ス岡田文部大臣、柴垣文部省建築課長、荒木京都帝國大學總長、山岡三重縣知事、三條西神宮大宮司其他ノ朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ
- 同月二日 第一回陸上運動會ヲ舉行ス
- 同月十一日 乾藪室、羊舍、鶴舍、豚舍外二棟新築竣工ス
- 同月三十日 高橋農商務大臣來校視察セララル
- 十二月四日 本校規則中入學ニ關スル項ヲ改正ス
- 同月六日 特別研究室新築竣工ス

- 十二月二十日 官舎四棟及附屬建物新築竣工ス
- 十二月三十日 蠶種貯藏庫、作物栽培實驗室、簡易堆肥及水肥舍新築竣工ス

大正十四年

- 一月廿二日 文部省告示第十二號ヲ以テ本校卒業生ハ農學科ニ在リテハ農業、動物又ハ植物、農業土木學科ニ在リテハ數學ニ關シ中等學校教員無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ルモノト指定セララル
- 二月十五日 本校所屬演習林トシテ三重縣一志郡八幡村所在平倉國有林四百五十七町八反六畝八步ヲ農商務省ヨリ讓受ク
- 同月十八日 農產製造室、林產製造室、飼料室新築竣工ス
- 同月廿七日 本校内ニ三重縣立農業補習學校教員養成所ヲ設置ス
- 三月十四日 温室新築竣工ス
- 同月十七日 第一回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十八名、農業土

木學科二十八名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

三月廿三日 本校規則中授業料ニ關スル規定ヲ改正ス

同月卅一日 本校正門前ノ土地八百十二坪ヲ購入シ見本植物園ヲ設置ス

四月一日 大正十四年度入學志願者三百六十一名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月同日 勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助教授十二人ヲ十人ニ改正セラル

同月十五日 第四回入學式ヲ舉行ス

五月廿七日 文部省令第二十七號ヲ以テ本校規程中各學科ノ學科目及其ノ程度ニ改正ヲ加ヘラル

同月同日 本校規則中同上

十一月一日 第二回陸上運動會ヲ舉行ス

大正十五年

三月十七日 第二回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十四名、農業土木學科二十五名及林學科三十二名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科

二名、農業土木學科選科一名及林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日 大正十五年度入學志願者四百四十五名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日 第五回入學式ヲ舉行ス

五月十五日 農業土木學科二名及林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

六月廿五日 農學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

七月三日 農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

十月卅一日 第三回陸上運動會ヲ舉行ス

十一月十一日 同日ヨリ三日間ニ亘リ文部省社會教育課ニ於テ本校

實驗農場其ノ他ノ諸施設ヲ撮影シ活動映畫ヲ作ル

十二月四日 聖上陛下御惱御平癒祈願式ヲ舉行シ式後上原校長並職員學生各代表者伊勢神宮ニ參拜御平癒祈願ヲ爲ス

昭和元年

十二月廿五日 聖上陛下崩御アラセラレタルニ付奉悼式ヲ舉行ス

昭和二年

二月三日 演習林寄宿舎新築竣工ス

同月七日 大正天皇御大喪儀ニ付遙拜式ヲ舉行ス上原校長ハ上京鹵

簿内奉送ヲ爲シ職員並學生各總代ハ鹵簿ヲ奉送ス

同月十四日 今上天皇陛下朝見ノ儀ニ於テ賜ハリタル勅語奉讀式ヲ舉行ス

三月十七日 第三回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十七名、農業土木學科三十一名及林學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科

一名ニ修了證書ヲ授與ス

三月卅一日 固定温床新築竣工ス

同月同日 外國人特別入學細則ヲ制定ス

四月一日 昭和二年度入學志願者五百十二名中ヨリ農學科四十六名、農業土木學科四十二名及林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス

同月十三日 農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月十五日 第六回入學式ヲ舉行ス

同月廿八日 農業土木學科四名及林學科三名ニ卒業證書ヲ授與ス

五月十二日 三土文部大臣來校視察セララル

同月十六日 農學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月卅一日 農學科一名及農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

九月十二日 水野文部大臣來校視察セララル

十月卅一日 第四回陸上運動會ヲ舉行ス

十一月十四日 上原校長歐米各國へ出張ヲ命セラル
十二月廿七日 勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正本校職員定員中ニ助手二人ヲ加ヘラル

昭和三年

一月十六日 校長上原種美歐米各國へ出張不在中教授増淵次助校長代理ヲ命セラル

同月十八日 上原校長任地ヲ出發ス

三月十七日 第四回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十六名、農業土木學科三十名及林學科二十九名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月二十日 藥品庫増築竣工ス

同月廿八日 有毒瓦斯處理室新築竣工ス

四月一日 昭和三年度入學志願者六百四十四名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十一名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

四月九日 本校規則第一條ヲ改正ス

同月十五日 第七回入學式ヲ舉行ス

五月十一日 農學科一名、農業土木學科二名及林學科二名ニ卒業證書ヲ授與ス

十月廿一日 第五回陸上運動會ヲ舉行ス

同月廿九日 勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正

正「生徒監」ヲ「生徒主事」ニ改メ「生徒主事補」ヲ加ヘラル

十一月十日 御即位禮奉祝式ヲ舉行ス

同月同日 御大禮記念御眞影奉安殿地鎮祭ヲ舉行ス

同月十五日 神宮御親謁ノ爲 天皇 皇后兩陛下幸啓ニ付本校生産ノ果實ヲ獻上ス

同月十九日 天皇 皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉迎ス

同月二十日 天皇 皇后兩陛下神宮御親謁ノ際職員學生一同鹵簿ヲ

奉拜ス

十一月廿二日 天皇 皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉送ス
十二月十二日 上原校長歐米ノ視察ヲ了ヘ歸朝ス
同月十三日 上原校長歸朝ニ付増淵教授校長代理ヲ免セラル

昭和四年

三月十六日 第五回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十二名、農業土
木學科三十名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一
名ニ修了證書ヲ授與ス
同月廿八日 本校規則中授業料ニ關スル規定ヲ改正ス
四月一日 昭和四年度入學志願者六百八十六名中ヨリ農學科四十
五名、農業土木學科四十二名及林學科四十二名ノ入學ヲ許可ス
同月十日 農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月十五日 第八回入學式ヲ舉行ス

五月十日 校旗規程ヲ制定ス

同月十七日 校旗上成式ヲ舉行ス

六月五日 天皇陛下大阪城東練兵場ニ於テ二府五縣下ニ於ケル學
生生徒等御親閱ニ付本校學生百二十名教官引率シ分列部隊ニ參加
御親閱ノ光榮ニ浴シ上原校長御親閱場ニ參列分列式ヲ陪觀ス

十月二日 神宮式年御遷宮執リ行ハセラル、ニ付職員學生一同講
堂ニ參集奉拜式ヲ舉行ス

上原校長 皇大神宮御遷宮式ニ參列又學生代表八十名職員引率シ
神域内ニ於テ之ヲ奉拜ス

同月五日 豐受大神宮御遷宮式執リ行ハセラル、ニ付學生代表九
十名職員引率シ神域内ニ於テ之ヲ奉拜ス

同月十九日 第六回陸上運動會ヲ舉行ス

十一月一日 本校創立記念日ニ付校内ヲ開放シ一般ノ參觀ニ供ス

十一月十四日 農業工學實驗室新築竣工ス

十二月五日 熊澤一衛氏寄附ニ係ル御大禮記念御眞影奉安殿新築竣工ス

昭和五年

三月十六日 第六回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十八名、農業土木學科三十三名及林學科三十六名ニ卒業證書ヲ、林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日 昭和五年度入學志願者九百三十三名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十四名及林學科四十一名ノ入學ヲ許可ス

同月十日 農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月十五日 第九回入學式ヲ舉行ス

同月廿一日 本校々友會寄附ニ係ル弓道場竣工ス

五月十七日 農學科一名、農業土木學科二名及林學科一名ニ卒業證書

ヲ授與ス

十月十四日 天皇陛下 皇后陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル

同月十五日 御眞影拜戴式ヲ舉行ス

同月十九日 第七回陸上運動會ヲ舉行ス

同月三十日 教育ニ關スル勅語渙發滿四十年記念式ヲ舉行ス

十一月一日 本校創立記念日ニ付記念式ヲ舉行且校内ヲ開放シ一般ノ參觀ニ供ス

同月十五日 本校演習林内ニ建設シタル平倉神社ノ鎮座祭ヲ舉行ス

第二 學年曆

四月一日 學年始、第一學期始

同月三日 神武天皇祭

同月五日 春季休業終

學年曆

同月六日 第一學期授業始
 同月廿九日 天長節
 七月二十日 第一學期授業終
 同月廿一日 夏季休業始
 八月卅一日 第一學期終
 九月一日 第二學期始
 同月十日 夏季休業終
 同月十一日 第二學期授業始
 秋分日 秋季皇靈祭
 十月十七日 神嘗祭
 十一月一日 本校記念日
 同月三日 明治節
 同月廿三日 新嘗祭

學年曆

十二月廿四日 第二學期授業終
 同月廿五日 大正天皇祭、冬季休業始
 同月卅一日 第二學期終
 一月一日 四方拜、第三學期始
 同月十日 冬季休業終
 一月十一日 第三學期授業始
 二月十一日 紀元節
 春分日 春季皇靈祭
 三月廿四日 第三學期授業終
 同月廿五日 春季休業始
 同月卅一日 第三學期終、學年終

第三 法令

一、文部省直轄諸學校官制(抄)

(明治二十六年八月
勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校左ノ如シ

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 東京高等師範學校 | 廣島高等師範學校 | 東京女子高等師範學校 |
| 奈良女子高等師範學校 | 盛岡高等農林學校 | 鹿兒島高等農林學校 |
| 上田蠶絲專門學校 | 東京高等蠶絲學校 | 京都高等蠶業學校 |
| 鳥取高等農林學校 | 三重高等農林學校 | 宇都宮高等農林學校 |
| 岐阜高等農林學校 | 宮崎高等農林學校 | (以下省略) |

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

- | | | | | | |
|----|----|------|----|----|-------|
| 校長 | 教授 | 生徒主事 | 助教 | 書記 | 生徒主事補 |
|----|----|------|----|----|-------|
- 前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得
- 第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
- 第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教ハ勅任トス生徒ノ教育ヲ掌ル
- 第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス
- 生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル
- 第十條 書記ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十條ノ二 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ勅任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ勅任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三 助手ハ勅任トス教授又ハ助教ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、文部省直轄諸學校職員定員令(抄)

(大正九年十一月
勅令第五百五十二號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

- 三重高等農林學校
- | | | | | |
|------|-------|-------|------|------|
| 校長一人 | 教授十八人 | 助教十一人 | 助手二人 | 書記六人 |
|------|-------|-------|------|------|

三、實業學校令(抄)

(大正九年十二月
勅令第五百六十四號改正)

第一條 實業學校ハ實業ニ従事スル者ニ須要ナル智識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水産學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス
 獸醫學校ハ農業學校ト看做ス
 第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

四、專門學校令(抄)

(明治三十六年三月勅令第六十一號)

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校ト稱ス
 專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス
 專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ
 第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得
 前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
 第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス
 第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得
 第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

五、三重高等農林學校規程

(大正十一年一月十二日 文部省令第一號)

第一條 三重高等農林學校ノ修業年限ハ三年トス
 第二條 三重高等農林學校ノ學科ハ農學科、農業土木學科及林學科トス
 第三條 三重高等農林學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ每週教授時數ヲ増減シ又休期時間ニ於テ實習實驗ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

(學科目省略)

第四條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ研究生トシテ二年以内在學セシムルコトヲ得
 第五條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

六、實業學校卒業者入學ニ關スル件

(大正十三年三月十二日) (文部省告示第百九號)

專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

一、男子實業學校卒業者

但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル

七、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定

(大正八年七月八日) (文部省告示第百九十二號)

明治四十年文部省令第二十八號公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

一、實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者左ノ如シ
官立公立實業專門學校本科卒業者

八、三重高等農林學校卒業者無試験檢定ニ關スル件

(大正十四年一月二十二日) (文部省告示第百九十二號)

明治三十六年文部省告示第二十號教員無試験檢定ニ關スル指定學校名及學科目中左ノ通改正ス

鳥取高等農林學校ノ次ニ左ノ如ク加フ
三重高等農林學校

農學科	農業
動物	(特別講義及實驗ニ於テ動物ニ關スル科目毎週七時間以上ヲ修メ其成績優等ナル者ニ限ル)
植物	(特別講義及實驗ニ於テ植物ニ關スル科目毎週七時間以上ヲ修メ其成績優等ナル者ニ限ル)
數學	(當該科目成績優等ナル者ニ限ル)
農業土木學科	

九、實業學校教員養成規程

(大正四年三月) (文部省令第七號)

第一條 東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所、東京商科大學附屬商業教員養成所、東京高等工業學校附設工業教員養成所及大阪高等工業學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徵收セス

前項養成所ノ生徒ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學費ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學、官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條 前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルハシ

一、養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一

- 二、養成ノ所生徒ニシテ學費ヲ補給ヲ受ルケク者ハ其ノ補給ヲ受ケル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘクル期間
- 三、授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一
- 第三條 前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ
- 前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス
- 第四條 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ
- 其ノ就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
- 前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ
- 第五條 第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學費又ハ授業料ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ
- 一、退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ
- 二、實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ
- 三、第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケケスシテ入學若ハ留學シタルトキ
- 前項授業ノ費額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム
- 第六條 地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ就職ニ從事スル者ニ其ノ義務期間内轉任、退職若ハ休職ヲ命セントスルトキハ事由ヲ具シ豫メ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ但シ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタル者アリタルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ
- 休職期間満了ノ爲退職者トナリタル者アルトキ若ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキ亦同シ

- 第七條 各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第八條 大學及專門學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學費ヲ補給スルコトアルヘシ
- 前項ノ規定ニ依リ學費ノ補給ヲ受ケル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學費ノ補給ヲ止ムルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學費ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スシコトアルヘシ
- 第九條 前條ノ規定ニ依リ學費ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當ルス期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ
- 第三條乃至第六條ノ規ハ定前條ノ規定ニ依リ學費ヲ補給スヘキ學生々徒ニ關シ之ヲ準用ス

十、文部省直轄實業專門學校委託生規程 (明治四十年七月 文部省令第二十三號)

- 第一條 北海道府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業專門學校生徒ニシテ卒業後其ノ公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者ニ學費ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得
- 第二條 公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委嘱スルコトヲ得
- 第三條 公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學費ハ一箇月拾圓以上トス
- 第四條 委託生ニハ授業料ヲ徴收セス

第五條 委託生ハ卒業ノ日ヨリ學費ノ補給ヲ受ケタル期間ニ一箇年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス

第六條 委託生ニシテ在學中半途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若ハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ補給ヲ受ケタル學費ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ且シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認メタルトキハ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得

一、前條ノ義務ヲ盡ササルトキ

二、懲戒免職ニ處セラレタルトキ

三、免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

第七條 學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

十一、文部省直轄學校外國人特別入學規程(抄)

(明治三十四年十一月十一日
文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツハシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

十二、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關ヘル件

(明治四十四年四月
文部省令第十六號)

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若クハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

第四 規 則

一、三重高等農林學校規則 (大正十一年
一月十六日制定)

第一章 總 則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農林及農業土木ニ關スル高等ノ學術技藝ヲ教授シ併セテ人格ヲ陶冶シ國體觀念ヲ養成

スルヲ以テ目的トス

第二條 本校ニ農學科農業土木學科及林學科ヲ置ク

第三條 各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條 本校ニ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ

研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章 學科目及其ノ程度

第五條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ每週教授時數ヲ増減スルコトアルヘシ

農學科

學科目	學年			每學年週			教授時數		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	四	四	四	三	三	三	三	三	三
物理學及氣象學	二	二	二	(三)三	三	三	二	二	二
化學及分析	三	三	三	三	(三)一	三	二	二	二
動物學及昆蟲學	三	三	三	二	二	二	二	二	二
植物學及植物病理學	(二)四	四(二)三	(二)二	(二)一	二(三)一	(三)三	二	二	二
礦物學及地質學	三	二	二	(二)一	(二)二	(三)三	二	二	二
作物學及育種學	二	二	二	二	二	二	二	二	二

農場實習(回数)	農學實驗及實習(回数)	合計	特別講義及實驗	獨逸語	教育學	植民政策	財政學	行政法大意	獸醫學大意	林學大意	應用菌學
四	(不定時)	二八 (二)									
四		二八 (二)									
四		二八 (四)									
三	(不定時) 一	二七 (五)									
三	(不定時) 二	二七 (五)									
三	四	二六 (三)									
二	三	〇(七)九(七)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)
二	三	〇(七)九(七)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)	〇(三)
二	三	〇(三)六(三)	〇(三)						〇(三)	〇(三)	

家畜榮養論	植物榮養論	法學通論	經濟學	農政學	農業經營學	農產製造學	農業工業	農具論	土壤學及肥料學	實驗遺傳學	畜產學	園藝學	養蠶學
								二					(不定時) 二
								一	二				二
									二		二		二
			二	三					二		二		(不定時) 二
			二	三					二	二	二		(不定時) 一
			二	三	二	二			二	二	二		
	〇(三)	二		二	二	二					二	二	
〇(三)	〇(三)	二		二	二	二					二	二	
〇(三)		二		二	三	二					二		

計畫演習	合 計	獨 逸 語	植 民 政 策	行 政 法 大 意	林 學 大 意	設 計 及 製 圖	法 學 通 論	經 濟 學	實 驗 及 實 習 (<small>回數</small>)		
									第一學期	第二學期	第三學期
	三一								二	三	二
	三二								三	三	二
	三二								(二)二	二	二
	三四					六			(三)三	一	四
	三四					八			(三)一	一	四
	三五					一二				一	四
不定時	二	(九)	(三)	(三)	(三)	(三)	二	二			
同上	二	(九)	(三)	(三)	(三)	(三)	二	二			
同上	二	(六)	(三)	(三)	(三)	一五	二	二			

林學科

學 科 目	第一學年			第二學年			第三學年			修 身	體 操	獨 逸 語	英 語	數 學	物 理 學 及 氣 象 學	化 學 及 分 析	地 質 學 及 土 壤 學	森 林 動 物 學 及 昆 蟲 學	
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期										
學 年	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期										
每 週	一	二	二	一	二	二	一	二	二										
教 授	一	二	二	一	二	二	一	二	二										
時 數	一	二	二	一	二	二	一	二	二										

第三章 學年、學期及休業日

第六條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 自四月一日 至八月三十一日

第二學期 自九月一日 至十二月三十一日

第三學期 自一月一日 至三月三十一日

第八條 休業日ハ左ノ如シ但シ休業日ト雖實習實驗ヲ課シ又ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

一、日 曜 日

一、祝日、大祭日

一、本校記念日（十一月一日）

一、春季休業（自三月二十五日 至四月五日）

一、夏季休業（自七月二十一日 至九月十日）

一、冬季休業（自十二月二十五日 至一月十日）

第四章 入學、在學、休學及退學

第九條 入學ノ期ハ每學年ノ始トス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正志望鞏固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定ニ合格シタル者タルヘシ

一、中學校卒業者

二、實業學校卒業者 但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校卒業シタル者

三、前項ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試験檢定ノ指定ヲ受ケタル者

四、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定合格者

前項第一號乃至第三號ニ該當スル學校ノ在學者ニシテ當該學校長ヨリ其ノ年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタル

モノハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

第十一條 入學檢定ハ學力檢定、身體檢查及口頭試問ニ依リ行フ

第十二條 學力檢定ヲ分チテ試験檢定及無試験檢定トス

第十三條 試験檢定ハ國語、英語、數學、物理、化學、動物及植物ノ中三學科目以上ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

第十四條 無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ中學校又ハ實業學校卒業者ニシテ在學中第三學年、第四學年及第五學年(實業學校ニ在リテハ之ニ相當スル各學年)ノ學業成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ全數ノ十分ノ一以內ニ在ル者トス但シ卒業ノ翌年度ヲ經過セサル者ニ限ル

前項ノ場合中學校又ハ實業學校在學者ニ付テハ最終學年ノ第一學期及第二學期ノ平均學業成績ノ席次ヲ以テ最終學年ノ席次ト看做ス

第十五條 無試験檢定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ三分ノ一以內トス

無試験檢定ニ依リ選抜セラレサリシ者ハ試験檢定ニ應スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ第十六條ノ書類並入學檢定料ヲ要セス

第十六條 入學志願者ハ第二條ニ掲クル學科ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學檢定料ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

一、入學願書(第一號書式)

二、履歷書

三、當該學校長ノ卒業證明書又ハ卒業見込證明書(卒業シタル場合ニハ遲滯ナク更ニ卒業證明書ヲ差出スヲ要ス)若ハ專門學校入學者試験檢定合格證明書

四、寫眞(入學願出前六箇月以內ニ撮影シタル脱帽半身手札形)

五、無試験檢定ヲ受クル者ニアリテハ身體檢查書(在學中最後ノ身

體檢查書寫

前項ノ外入學志願者ハ別ニ學業成績書第二號書式ヲ當該學校長ヲ經テ差出スヘシ

第十七條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ二十日以内ニ保證人ノ連署ヲ以テ誓書(第三號書式)及戶籍抄本ヲ差出スヘシ

第十八條 保證人ハ本人ノ父兄又ハ丁年以上ノ親近者ニシテ本校ニ於テ適當ト認メタルモノタルヘシ

前項ノ父兄又ハ親近者ナキトキハ學生ノ身上ニ關シテ一切ノ事件ニ付其ノ責ニ任スルニ足ルヘキ者ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十九條 保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ速ニ誓書ヲ差出スヘシ

第二十條 保證人改姓、改印、轉居等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ

第二十一條 學生ハ本校所定ノ制服、制帽ヲ着用スヘシ

第二十二條 學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ具シ

三日以内ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺席七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十三條 學生疾病又ハ事故ニ依リ引續キ三箇月以上修業スルコト能ハサルトキハ保證人ノ連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ一箇年以内休學スルコトヲ得但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

休學ヲ許可セラレタル者ハ休學期間滿了ノ時ヨリ原級ノ課程ヲ修ムヘシ但シ休學期間中ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十四條 學生改姓、改名、改印、轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ但シ改姓、改名、轉籍ノ届出ニハ戶籍抄本ヲ添附スルヲ要

ス

第二十五條 學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入學シ又ハ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出ツヘシ

第二十六條 學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十七條 本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限り詮議ノ上試験ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試験ヲ省略ス試験ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學檢定料ヲ徴收セス

第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除ク

- 一、 性行不良ニシテシ善ノ見込ナシト認メタル者
- 二、 學業劣等若ハ身體虛弱ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三、 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席改タル者
- 四、 授業料ノ納付ヲ怠リ出席停止一箇月以上ニ亘ル者

第五章 表彰及懲戒

第二十九條 學生品行方正ニシテ學業ニ精勵シ其ノ成績優等ナル者其ノ他其ノ行爲他ノ模範ト爲スニ足ルト認メタル者ハ之ヲ選抜シテ特待生トナシ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ表彰スルコトアルヘシ
特待生ニハ授業料ヲ徴收セス
特待生學業ヲ怠リ又ハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生タルコトヲ罷ム

第三十條 學生校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失フト

認めタルトキハ其ノ輕重ニ依リ戒飭、停學又ハ放校ニ處ス

第六章 修業及卒業

第三十一條 各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業ノ成績等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第三十二條 前條ノ考查ニ合格セサル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム但シ場合ニ依リ詮議ノ上假進級ヲ爲サシメ再考查ヲ行フコトアルヘシ

第三十三條 已ムヲ得サル事故ニ依リ試験ニ缺席シタル者追試験ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條 第三學年ノ終ニ於テハ卒業論文ヲ提出セシメ又ハ卒業試問ヲ行フ

第三十五條 第三學年ノ課程ヲ修了シ卒業論文又ハ卒業試問ノ成績適當ナリト認めタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十六條 第三學年ノ成績考查ニ合格セサル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十七條 本校卒業生ハ其ノ修得セル學科ニ從ヒ農學得業士、農業土木學得業士又ハ林學得業士ト稱スルコトヲ得

第三十八條 成績考查ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 研究生

第三十九條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ詮議ノ上研究生トシテ二年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條 研究生タラントスル者ハ其ノ研究セントスル事項及在學期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四十一條 研究生其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報告書ヲ作り指導教官ヲ經テ之ヲ學校長ニ差出スヘシ

研究ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第八章 選科生

第四十二條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十三條 選科生ニシテ在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第九章 入學檢定料、授業料及實驗實習費

第四十四條 入學檢定料ハ金五圓トス入學願書ト共ニ納付スヘシ

第四十五條 授業料ハ一學年本科生ハ金八拾圓、選科生ハ金五拾五圓トス研究生ニハ授業料ヲ徴收セス

第四十六條 授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分テ每期ノ始ニ於テ之ヲ徴收ス

本科生	選科生
-----	-----

第一期	自八月至四月	金參拾貳圓	金貳拾參圓
第二期	自九月至十二月	金貳拾八圓	金貳拾圓
第三期	自一月至三月	金貳拾圓	金拾貳圓

第四十七條 研究生及選科生ニハ實驗實習ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徴收スルコトアルヘシ

第四十八條 入學檢定料、授業料及實驗實習費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第四十九條 本科學生中卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニハ授業料ヲ免除スルコトアルヘシ

前項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ實業學校教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第五十條 停學ヲ命シ若ハ休學ヲ許可シタル者ニハ次期ヨリ授業料

ヲ徴收セス
各學期始業日以後授業料徴收期日以前ニ停學、休學又ハ退學シタルトキハ其ノ期ノ授業料ハ一學年分ノ十分ノ一トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ徴收ス

第五十一條 休學又ハ停學ヲ解除セラレタル者若ハ特待生タルコトヲ罷メラレタル者ニハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徴收ス

第五十二條 授業料ハ定日マテニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スヘキモノトス

第五十三條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ル場合ハ出席ヲ停止ス

第十章 寄宿舎

第五十四條 寄宿舎ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附則

第四十五條及第四十六條ハ昭和四年度入學者ヨリ之ヲ適用シ其ノ以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ依ル
第一號書式

入學願書

志望學科 第一何學科
第二何學科

試驗檢定 (又ハ無試驗檢定)

受験希望場所 何地 (但シ試驗所ヲ二箇所以上トシ廣告シタル場合)

私儀今般御校前記ノ學科ニ入學志望ニ付御許可相成度入學檢定料相添へ此段御願候也

本籍

住所 (受信ノ場所)

氏

名 剛 (氏名ニ片假名ヲ付スヘシ)

年 月 日生

三重高等農林學校校長氏名殿

履歷書 (同一紙裏面ヨリ始ム)

學業

- 一、何年月日ヨリ何學校ニ入學、何年月何學校卒業又ハ何年月ヨリ何年月マテ何某ニ就キ何學修業
- 一、何年月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定合格證明書ヲ受ク等

職業

- 一、何年月何官職拜命又ハ何業ニ從事、何年月何月退官廢業又ハ現今何官職何業從事等

兵役

- 一、何年月何隊入營、何年月何月滿期(休歸)除隊又ハ補充國民軍編入等

賞罰

- 一、何年月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等

第二號書式

學業成績書

右者本校在學中三年間ノ學業成績左記之通ニ候也

三重高等農林學校校長氏名殿

氏名
學校長 氏名 印

學科目	學年	第	學年	第	學年	最終	學年	何々々	何々々	何々々	平均點數	席次	修了年次
			人		人		人					中	昭
			番		番		番						和
													年

注意 本書ハ當該學校長ヨリ直接本校々長ニ差出スモノトス

第三號書式

誓書

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ専心學業ヲ勉勵可致候仍テ保證人連署ヲ以テ誓書如此候也

年月日

本籍住所

戶主又ハ何某何男若ハ弟等

氏名 年月日生

本籍住所

職業 本人トノ關係

右保證人 氏名 年月日生

三重高等農林學校校長氏名殿

第五細則

一、事務規程 (大正十一年四月二十日制定)

第一章 總則

第一條 校務ヲ掌理スル爲本校ニ庶務課、會計課、教務課、學生課、圖書課、農學科、農業土木學科、林學科、農場及演習林ヲ置ク

第二條 各課、農場及演習林ニ長ヲ置キ各科ニ主事ヲ置ク

第三條 課長ハ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命シ主事、農場長及演習林長ハ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス

第四條 校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ各主管者ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第五條 各主管者ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員

ヲ監督ス

第六條 所屬職員ハ主管者ノ指揮ヲ受ケ其ノ事務ニ從事ス

第七條 各主管者事故アリテ執務スルコト能ハサルトキハ所屬首席者其ノ事務ヲ代理ス但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 分掌セル校務ノ相關聯スルモノハ之ヲ合議スヘシ事務ノ所屬不明ナルモノアルトキハ學校長ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

第二章 分掌

第九條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
- 二、學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
- 三、公文書類ノ接受發送及其ノ整理保管ニ關スル事項
- 四、庶務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル

事項

- 五、儀式ニ關スル事項
- 六、官吏及雇員等ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
- 七、敘位及敘勳ニ關スル事項
- 八、規則ノ制定改廢及命令傳達ニ關スル事項
- 九、學校一覽及記錄編纂ニ關スル事項
- 一〇、統計報告ニ關スル事項
- 一一、法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
- 一二、名簿、履歷書及出勤簿ニ關スル事項
- 一三、會議ニ關スル事項
- 一四、宿直ニ關スル事項
- 一五、庶務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 一六、他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事務

第十條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、歳入歳出豫算及決算ニ關スル事項
- 二、物品ノ出納及受管ニ關スル事項
- 三、金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
- 四、官有財産及資金ノ監理ニ關スル事項
- 五、建物及校地ノ使用營繕ニ關スル事項
- 六、物品購入及不用品處分ニ關スル事項
- 七、傭人ノ進退賞罰及取締ニ關スル事項
- 八、校舍内外ノ洒掃ニ關スル事項
- 九、建物及校地ノ警備取締ニ關スル事項
- 一〇、電燈、電話、瓦斯、給水及煖房ニ關スル事項
- 一一、會計課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- 一二、會計課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

三、其ノ他會計課ニ關スル一切ノ事項

第十一條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、教室、講堂、教具、教材ノ設備及整理保管ニ關スル事項
- 二、教授事項ノ分擔及日課ノ配當ニ關スル事項
- 三、授業及休業ニ關スル事項
- 四、學生募集並ニ入學檢定ニ關スル事項
- 五、學生ノ入學、退學、休學及學籍ニ關スル事項
- 六、成績考查、進級、卒業ニ關スル事項
- 七、教官會議ニ關スル事項
- 八、修學旅行ニ關スル事項
- 九、學事報告ニ關スル事項
- 一〇、教務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
- 一一、教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

三、參觀人ニ關スル事項

三、其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第十二條 學生課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、學生ノ訓育並ニ賞罰ニ關スル事項

二、學生ノ風紀取締ニ關スル事項

三、學生ノ衛生及身體検査ニ關スル事項

四、學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項

五、學生ノ願出ニ關スル事項

六、學生ノ兵役ニ關スル事項

七、學生ノ入退舍、外泊、通學、入院、歸省及旅行ニ關スル事項

八、寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項

九、寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項

一〇、非常事變ニ關スル事項

二、學生課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項

三、學生課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

三、其ノ他學生取締ニ關スル一切ノ事項

第十三條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、圖書ノ出納、整理及保管ニ關スル事項

二、圖書ノ貸付ニ關スル事項

三、書庫及閱覽室ニ關スル事項

四、官報、新聞、雜誌、年報、一覽等ノ整理保存ニ關スル事項

五、圖書課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

六、圖書課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項

七、圖書ノ調査ニ關スル事項

八、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十四條 農學科、農業土木學科及林學科ニ於テハ各左ノ事項ヲ監掌ス

- 一、當該學科ニ屬スル學科目ノ教授ニ關スル事項
 - 二、前號ニ伴フ建物、試驗地及物品ノ整理保管ニ關スル事項
 - 三、教授要旨及教授細目ノ編纂整理ニ關スル事項
 - 四、教授分擔ニ關スル事項
 - 五、事業功程ニ關スル事項
 - 六、農學科ニ於テハ植物園ニ關スル事項
 - 七、林學科ニ於テハ林學實習場ニ關スル事項
 - 八、其ノ他當該學科ニ關スル事項
- 第十五條 農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、農場ノ經營管理ニ關スル事項
 - 二、農事實驗實習ニ關スル事項
 - 三、養蠶實習ニ關スル事項
 - 四、家畜飼育管理ニ關スル事項

- 五、農產製造及畜產製造實習ニ關スル事項
- 六、生産物處分ニ關スル事項
- 七、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 八、其ノ他農場ニ關スル事項

第十六條 演習林ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、演習林ノ經營管理ニ關スル事項
- 二、森林演習ニ關スル事項
- 三、生産物處分ニ關スル事項
- 四、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 五、其ノ他演習林ニ關スル事項

二、物品會計細則 (大正十二年四月二十一日制定)

第一條 本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本則ニ據リ處理スヘシ

第二條 物品ノ種別ハ左ノ項目ニ從ヒ之ヲ區分スヘシ

備品

通常備品

共用
專用

學術用備品

器具
機械
標本

動物

圖書

消耗品

通常消耗品

實驗用消耗品

藥品、材料及雜品
飼料、肥料、種苗

第三條 備品ニハ品名、番號及校名ヲ記載シタル標札ヲ附スヘシ之ヲ

各部局ニ支給スル場合ハ更ニ其ノ部局名ヲ記入スルモノトス但シ之ヲ附スルコト能ハサル物品ニ付テハ適當ノ方法ニ依リ整理スヘシ

第四條 各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品名、數量及需要ノ事由等ヲ記載セル請求書ヲ會計課ニ差出スヘシ但シ註文上仕様書及圖解等ヲ要スルモノハ之ヲ添附スヘシ

第五條 會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ價格ヲ記シ學校長ノ許可ヲ經テ購入及支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 通常所要ノ物品ハ會計課ニ於テ一箇年ノ所要高ヲ豫算シ學校長ノ許可ヲ經テ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 各部局ニ於ケル實驗實習上生産シタル物品ハ當該物品取扱主任ニ於テ其ノ品名、數量、評價及引繼年月日ヲ記載シ之ヲ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

第八條 前條生産物又ハ保管轉換若ハ寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ其ノ品名、數量及價格若ハ評價ヲ附シ學校長ノ許可ヲ經テ藏置、賣却又ハ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 各部局ニ備品ニ付物品監守者、消耗品ニ付物品取扱主任一名若ハ數名ヲ置ク其ノ監守區域及取扱物品ノ種目ハ別ニ之ヲ定ム
物品監守者及物品取扱主任ハ各自物品ノ使用又ハ取扱ニ關シ其ノ責ニ任スヘシ

第十條 職員執務用机椅子類及被服類ハ專用備品トシ專用者各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十一條 職員及備人ノ新任轉免ノ際ハ會計課ハ其ノ都度專用備品ノ支給、返付ノ事ニ當ルヘシ

第十二條 物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ備品ハ監守簿ニ、消耗品ハ受拂簿ニ記帳シ現物ト對照ノ上所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ押捺シ遲滯ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ
但シ備品ニ在リテハ監守簿ニ物品備付ノ場所ヲ摘記シ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニ在リテハ其ノ受拂殘高ヲ明確ニスヘシ

第十三條 物品監守者變更シタルトキハ新舊監守者及會計課員立會ノ上現品ト關係書類トヲ照合シ引繼ヲ爲スヘシ引繼ヲ了シタルトキハ新舊監守者連署シ其ノ旨物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十四條 物品監守者間ニ於テ物品監守換ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ旨會計課ニ通知シ制規ノ手續ヲ經テ現品ノ受授ヲ爲スヘシ
第十五條 物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理ヲ要ス

ルモノアルトキハ所定ノ請求書ヲ添へ會計課ニ差出スヘシ
會計課ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ修
理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 物品監守者監守中ノ物品不用トナリ又ハ毀損シ修理ヲ加
フルモ使用ノ見込ナキモノアルトキハ其ノ旨所定ノ物品返付用紙
ニ記載シ現品ト共ニ會計課ニ差出シ物品會計官吏ノ受領證ヲ受ケ
物品監守簿ニ其ノ事由、年月日ヲ記載シ抹消シ置クヘシ

第十七條 監守物品ノ票札ノ汚損若ハ紛失シタルモノアルトキハ物
品監守者ハ直ニ會計課ニ通告シ更ニ票札ノ貼付ヲ受クヘシ

第十八條 監守物品ニシテ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ
其ノ品名、數量、番號等ヲ取調ヘ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り
物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第十九條 不用ニ歸シタル物品又ハ毀損ノ物品ニシテ修理使用ノ見

込ナキモノアルトキハ物品會計官吏ニ於テ處分案ヲ具シ學校長ノ
決裁ヲ受クヘシ

第二十條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督ス
ヘシ

- 一、備品ハ毎年一回以上物品出納簿ト各部局物品監守簿トヲ照合
シ更ニ監守簿ト現品トヲ照査スルコト
- 二、消耗品ハ每學期一回以上物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ照合
シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照査スルコト
- 三、前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失、毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品
ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ申報シ其ノ決裁ヲ受クヘ
シ

第二十一條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左
ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品出納及支給簿

本簿ニハ圖書以外ノ備品ヲ第二條ノ物品種別ニ從ヒ各冊ニ別チ種別順、品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、番號、年月日、納人等ヲ登記シ供用在庫ノ現數並物品ノ出納ヲ明ニスヘシ
貴重物品ニ付テハ其ノ製作番號又ハ現品タルヲ知ルニ足ル事項ヲ關係書ニ記入スヘシ

二、圖書出納簿

本簿ニハ圖書ノ部門別ニ從ヒ圖書名、部數、冊數、價格、番號、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

三、消耗品出納簿

本簿ニハ通常消耗品ニ在リテハ帳簿用紙類、筆墨、印肉類、郵便切手類、印刷物類、薪炭油類、雜品類、雜用品類、實驗用消耗品ニ在リテハ實驗材料及雜品類、藥品類、肥料類、飼料類、種苗類等ニ區別シ品名、數量

價格、年月日、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ但シ通常消耗品ニ在リテハ品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ登記スヘシ

四、生産品出納簿

本簿ニハ實驗實習ニ依ル生産品又ハ製造品ノ品名、數量、價格、年月日等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

五、專用備品支給簿

本簿ニハ職員又ハ傭人ニ支給スル專用備品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登記シ物品會計官吏ト其ノ支給ヲ受クルモノトノ受授ヲ明ニスヘシ

第二十二條 各部局物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ物品ノ出納監守ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品監守簿

本簿ニハ圖書以外ノ監守物品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登

記シ監守物品ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

二、圖書監守簿

本簿ニハ部門毎ニ口座ヲ設ケ圖書名、部數、冊數、價格、年月日等ヲ登記シ圖書ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

三、消耗品受拂簿

本簿ニハ郵便切手類以外ノ消耗品出納簿ノ順序ニ基キ品目毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ拂受者ノ證印ヲ押捺セシムヘシ

四、郵便切手類受拂簿

本簿ハ庶務課ニ之ヲ備ヘ種別毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記ス當該物品取扱主任ハ常ニ帳簿ノ殘高ト現品トヲ照査スヘシ

第二十三條 本校ニ物品檢閲委員ヲ置キ定期、臨時ノ二種ニ分チ毎年

一回以上實地ニ就キ左ノ各項ヲ検査セシム但シ定期檢閲ハ八月トス臨時檢閲ハ臨時必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ施行ス

一、物品保管ノ適否

二、物品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否

四、物品缺損ノ有無

五、帳簿ト現品トノ對照

第二十四條 物品檢閲委員ハ委員長一名、委員若干名トシ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第二十五條 物品檢閲ハ在庫品ニ在リテハ物品會計官吏、使用中ノ物品ニ在リテハ物品監守者、消耗品ニ在リテハ物品取扱主任ニ就キ其ノ保管ニ屬スル物品ノ全部ヲ精細ニ検査スヘシ
前項ノ檢閲ヲ受ケタル者ハ實地ニ就キ檢閲委員ノ質問ニ對シ答辯



スヘシ

第二十六條 物品檢閲委員檢査ヲ了シタルトキハ帳簿ニ其ノ年月日ヲ記シ署名スヘシ

第二十七條 物品檢閲上物品ニ缺損アリタルトキハ檢閲委員ニ於テ當該責任者ヨリ補填ノ方法及期限ヲ明記シタル始末書ヲ徴スヘシ

第二十八條 物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ了シタルトキハ檢閲ノ顛末ニ意見ヲ具シ關係書類ヲ添ヘ十五日以内ニ委員長ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第二十九條 本則ニ據ル諸帳簿並諸表ハ別紙様式ニ依リ調製スヘシ

備品監守區域及消耗品取扱種目表	
部局名	備品監守區域
庶務課	校長室、講堂、貴賓室、會議室、應接室、庶務課室
庶務課	郵便切手及書

教務課	普通教室、教官室、教務課室	通常消耗品中
會計課	會計課室及他ノ部局ニ屬セサル箇所	教授用モノ
學生課	寄宿舎、學生集會所、消防器具倉庫、銃器室、武道場、學生控所、學生課室	通常消耗品
圖書課	圖書館、書庫	
植物學實驗室	植物及植物病理實驗室、培養基製造室、定溫器室、細菌室、博物教室、硝子室	實驗用消耗品
動物學實驗室	動物研究室、昆蟲研究室、顯微鏡寫真室、顯微鏡實驗室、農學實驗室	同
物理學實驗室	物理實驗室、物理器具機械室、電池室、教官室、物理教室、氣象觀測所、發電機室	同
化學實驗室	分析室、天秤室、化學器具機械室、試藥室、教官室、化學教室、藥品庫、瓦斯發生室、蒸餾室、農產製造室、有毒瓦斯處理室	同
養蠶學實驗室	養蠶室、蠶種貯藏庫、乾燥室	同
園藝學實驗室	園藝研究室、溫室	同
實驗農場園藝實習	園藝圃場、固定溫床	同

畜産學實驗室	畜産實驗室、家禽家畜舍、飼料室、薰烟室、酪農室、秤場	實驗用消耗品
農學科	作物實驗室、作物栽培實驗室、農學科標本室、農政研究室	同
農業土木學科	農業水利研究室、機械研究室、應用力學研究室、材料實驗室、機械實驗室、農業土木測量機械室、農業土木學科製圖室、農業土木學科標本室	同
林學科	森林埋水及砂防工研究室、森林利用研究室、造林及經理研究室、林政研究室、林學實驗室、林學科標本室、林學測量機械室、林學科製圖室、林產製造室、演習林	同
實驗農場	農場管理室及實習室、作業、收納室、穀物庫、農業器具機械室、堆肥舍、物置、藁置場、簡易堆肥及水肥舍、燻蒸室、農夫詰所、ボンブ室	同 通常消耗品中 事務用モノ
農業機械製作室	農業機械製作室	實驗用消耗品

三、圖書館規程

(大正十三年十二月十七日制定)

總則

第一條 本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ閱覽又ハ貸付ニ供ス

第二條 圖書ヲ分チテ普通圖書及特別圖書ノ二種トス

第三條 本校卒業者、官廳學校職員、公私團體ノ役員又ハ個人ニシテ學校長ノ許可ヲ經タルモノハ圖書ヲ閱覽シ又ハ之ヲ借受クルコトヲ得

第四條 本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

圖書閱覽

第五條 閱覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク但シ開閉ノ時限ハ變更ノ都度之ヲ揭示ス

第六條 學生閱覽室ニ入ラントスルトキハ圖書閱覽票ヲ館員ニ渡シ置キ退場ノ際之ヲ受取ルヘシ

第七條 圖書ヲ借覽セントスル者ハ所定ノ圖書閱覽傳票用紙ニ相當事項ヲ記入シ館員ニ差出シ圖書ヲ借受ケ閱覽了ラハ直ニ之ヲ返納スヘシ但シ閱覽冊數ハ一時ニ三冊ヲ超ユルヲ得ス

第八條 圖書ハ必ス閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ閱覽室備付ノ圖書及雜誌類ハ定メタル席ニ於テ閱覽シ閱覽了ラハ直ニ所定ノ位置ニ納メ置クヘシ

第九條 閱覽室ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ音讀、談話、喫煙等ヲ爲スヘカラス

第十條 閱覽室ニハ圖書、文房具ノ外他ノ物品ヲ携帯スルコトヲ得ス

第十一條 圖書閱覽票ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス

圖書貸付

第十二條 圖書ヲ借受ケントスル者ハ所定ノ圖書借受證用紙ニ相當ノ事項ヲ記入シ捺印ノ上館員ニ差出スヘシ

第十三條 圖書借受ノ冊數ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ學校長若ハ當該學科主任教官ノ證明ニ依リ圖書課長ノ承諾ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

教官 五冊 其ノ他 二冊

第十四條 教授上又ハ事務上必要アルトキハ前條ノ外圖書ヲ借受ケ研究室又ハ事務室ニ之ヲ備付クルコトヲ得此ノ場合ニハ當該學科主任教官又ハ課長其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十五條 圖書館ニ所藏スル教科書ニ就キテハ每學年ノ始メ當該教官ニ於テ豫メ冊數ヲ取纏メ借受ノ申出アルトキハ之ヲ貸付スルコトアルヘシ但シ當該教官其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十六條 特別圖書及普通圖書ノ中辭書、諸學科ニ通スル參考書及閱覽室備付ノ圖書ハ之ヲ貸出スコトヲ得ス但シ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ之ヲ貸付セス

第十八條 凡テ借受ケタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス但シ第十四條ニ依ル圖書ハ第十二條ノ手續ヲ準用シテ他ニ貸付スルコトヲ得

第十九條 學生ニシテ圖書ヲ借受ケタルモノハ十日以内ニ之ヲ返納スヘシ若シ引續キ借受ノ必要アルトキハ更ニ第十二條ノ手續ニ依ルヘシ但シ第十五條ニ依リ借受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十三條ニ依リ職員ノ借受ケタルモノ及第三條ニ依リ借受ケタルモノ、借受期間ハ一箇月以内トス

第二十條 凡テ借受ケタル圖書ハ夏季及冬季休業前又ハ每學年ノ終ニ於テ指定ノ期日マテニ悉皆返納スヘシ但シ第十四條ニ依ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 夏季及冬季休業中圖書ヲ借受ケントスル者アルトキハ

職員ハ圖書課長、學生ハ圖書課長及當該學科教官ノ許可ヲ得タルモノニ限り之ヲ貸付クルコトヲ得但シ該圖書ハ夏期ニ於テハ九月十五日マテニ、冬期ニ於テハ一月十五日マテニ返納スヘシ

第二十二條 貸付シタル圖書ハ第十三條、第十四條及第十五條ノ孰レニ依ルモノタルヲ問ハス臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ但シ第十四條ニ依ル圖書ニ就キテハ時宜ニ依リ本館員出張ノ上點檢スルコトヲ得

第二十三條 職員退職、轉任ノ場合、學生卒業、退學、休學等ノ場合ハ其ノ借受ケタル圖書ヲ直ニ返納スヘシ

圖書檢索

第二十四條 各部局長及教官公務上必要アルトキハ圖書館員ノ承諾ヲ得テ書庫内ニ入り圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出

納者ニ障礙ヲ及ホサル様注意スヘシ

制 裁

第二十六條 借受ケタル圖書ハ借受者其ノ保存ノ責ニ任シ若シ紛失汚損等ノ行爲アルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ之ヲ修補セシム但シ時宜ニヨリ相當ノ代價ヲ以テ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十七條 本則ニ違背シタルモノ其ノ他本館員ニ於テ必要アリト認ムルモノアルトキハ一定ノ期間又ハ無期限ニ圖書ノ閱覽及貸付ヲ禁スルコトアルヘシ

第二十八條 圖書ヲ辨償セシメ又ハ閱覽貸付ヲ禁スヘキモノアリト認ムルトキハ圖書課長ハ豫メ意見ヲ具シ學校長ニ稟申スヘシ

四、總代規程 (大正十一年七月二十七日制定)

第一條 各學科各級ニ總代及副總代各一名ヲ置ク

第二條 總代ハ其ノ級ヲ代表シ學校ト學生及各級間ノ關係ノ圓滑ヲ圖リ兼テ級ノ統一秩序及風紀ノ振作ニ努ムヘシ

第三條 副總代ハ總代ヲ補佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス

第四條 各級學生ハ各學期ノ始ニ於テ其ノ級總代及副總代ノ候補者五名ヲ投票ニ依リテ選舉スヘシ

第五條 總代及副總代ハ前條ノ候補者中ニ就キ學校長之ヲ任命ス但シ其ノ候補者適當ナラスト認ムルトキハ更ニ選舉ヲ行ヒ別ニ候補者ヲ定メシムルコトアルヘシ

第六條 第一學年第一學期ニ在リテハ前二條ノ規定ニ依ラス學校長ハ適宜總代及副總代ヲ任命スルコトアルヘシ

第七條 總代及副總代ノ任期ハ一學期間トス

第八條 總代又ハ副總代ニシテ其ノ任ニ適セスト認ムルモノアルト
 キハ學校長ハ之ヲ免シ第四條及第五條ノ手續ニ依リ更ニ總代又ハ
 副總代ヲ任命スルコトアルヘシ
 前項ニ依ル總代又ハ副總代ノ任期ハ其ノ殘期間トス

五、學生制服規程 (大正十一年九月十一日制定)

第一條 學生ノ制服ハ左ノ如シ

帽子

地質 黑絨
 前章 金色如圖
 眼底 黑革
 願紐 黑革(幅三分)

釦 金色圓形

帶布 黑色綾織(幅一寸五分)

制式 如圖

衣

地質 黑「サージ」但シ夏ハ黑「セル」

釦 金色如圖

襟章 左襟ニ農學科ハA、農業土木學科ハE、林學科ハ

Fノ金字ヲ附ス

制式 如圖

袴

地質 衣ニ同シ

制式 如圖

靴 黑色但シ教練ノ際ハ編上靴若ハ深護謨靴ニ限

ル教練ノ際ハ茶褐色ノ卷脚袴ヲ用フヘシ
外套ヲ着用スル場合ハ黒又ハ黒味勝質素ノ地質ノモノ
ヲ選フヘシ

第二條 制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一、本校ニ出入スルトキ但シ寄宿生ノ舍内ニ在ルトキハ此ノ限ニ
アラス

二、本校學生タルコトヲ表示スルトキ

三、其ノ他本校ヨリ特ニ指定シタルトキ

第三條 實習、實驗等ニ従事スルトキハ所定ノ作業服(地質カツラギ織
茶褐色)制式如圖ヲ着用セシムルコトアルヘシ但シ必要アル場合ニ
ハ教練ノ際ニモ之ヲ着用セシム

第四條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ制服ヲ着スルコト能ハサル者ハ生
徒主事ノ許可ヲ得テ和服ヲ着用スルコトヲ得

第五條 冬服、夏服ノ着用期間左ノ如シ

冬服 自十月一日
至五月十五日

夏服 自五月十六日
至九月三十日 但シ第一學年生ハ五月一日ヨリ之ヲ着用スルコトヲ得

第六條 夏服着用期間ハ略帽、麥藁帶布、黒無地織、前章正帽ノ場合ニ同
シヲ用フルコトヲ得

第七條 學生外出スルトキハ制服又ハ袴、制帽ヲ着用スヘシ

第八條 新入學生ハ五月一日マテニ制服ヲ調製着用スヘシ

第九條 選科生ニハ本規程ヲ準用ス但シ衣ニ襟章ヲ附セサルモノトス

附則

一、第三條ノ改正ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二、第三條改正規定施行ノ際現ニ在學スル者ニ對シテハ仍從前ノ
例ニ依ルコトヲ得

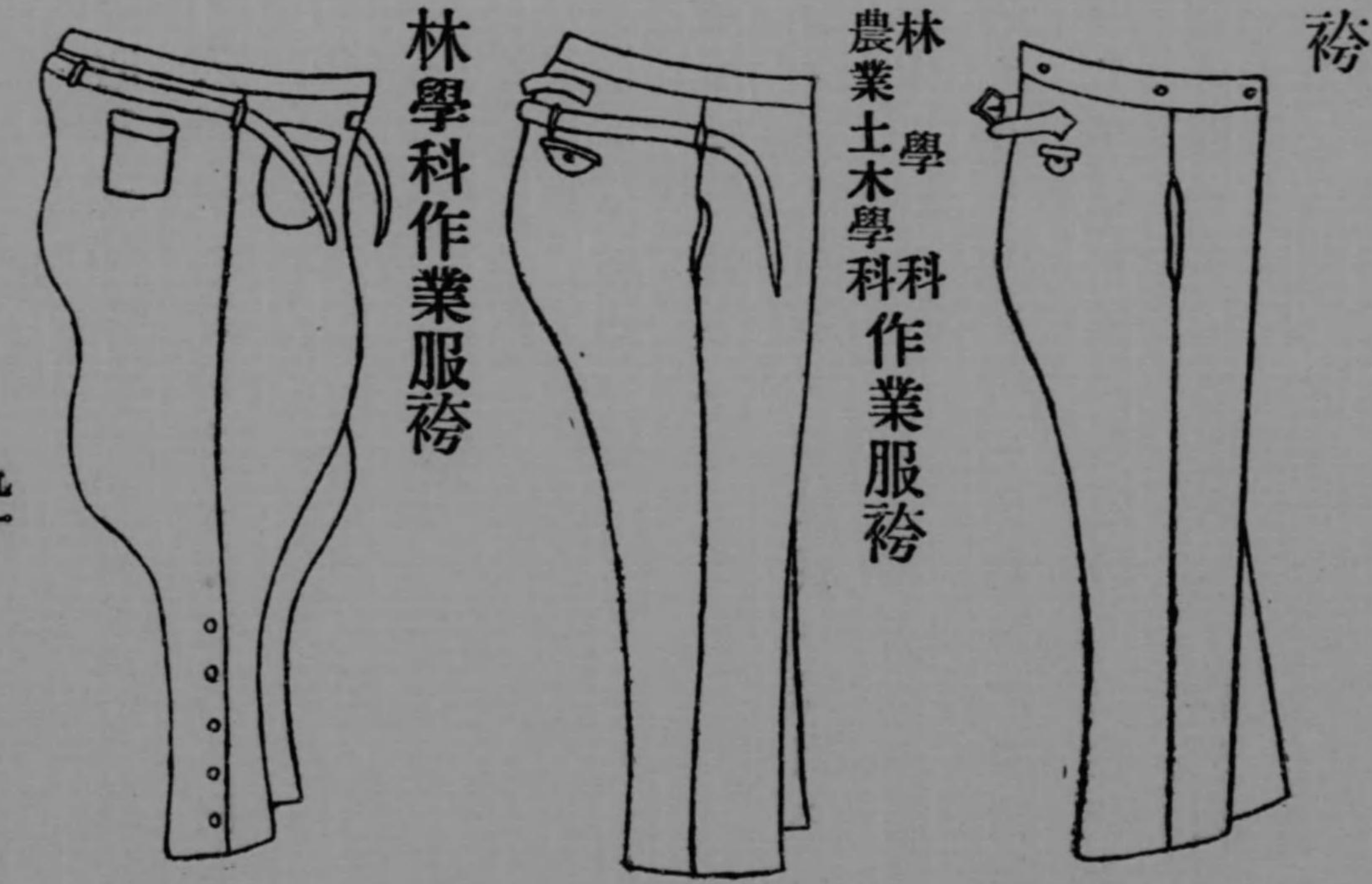
三、作業服規程ハ昭和四年四月一日限り之ヲ廢止ス



作業服衣背面

作業服衣前面

細則

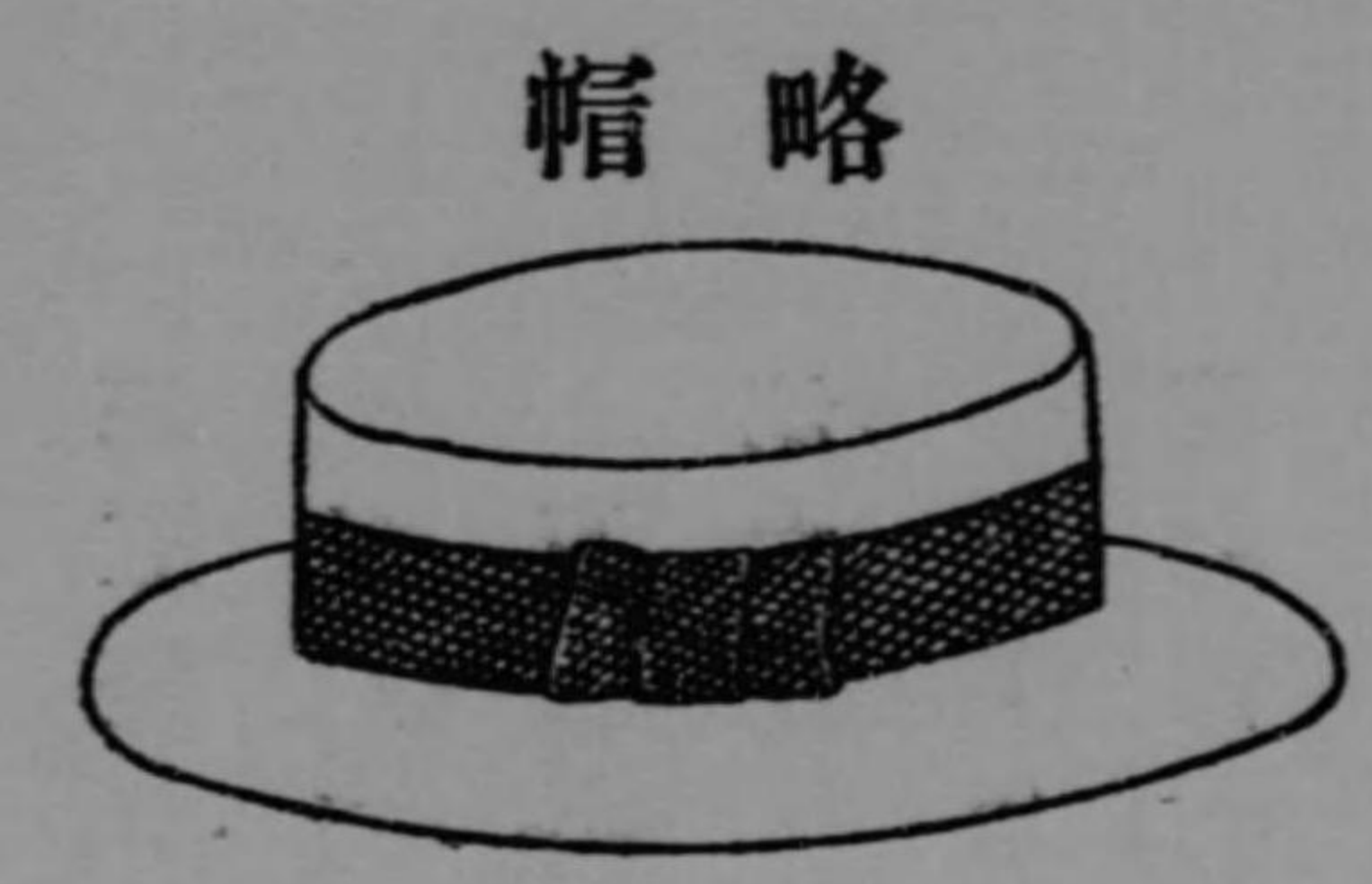


林學科作業服袴

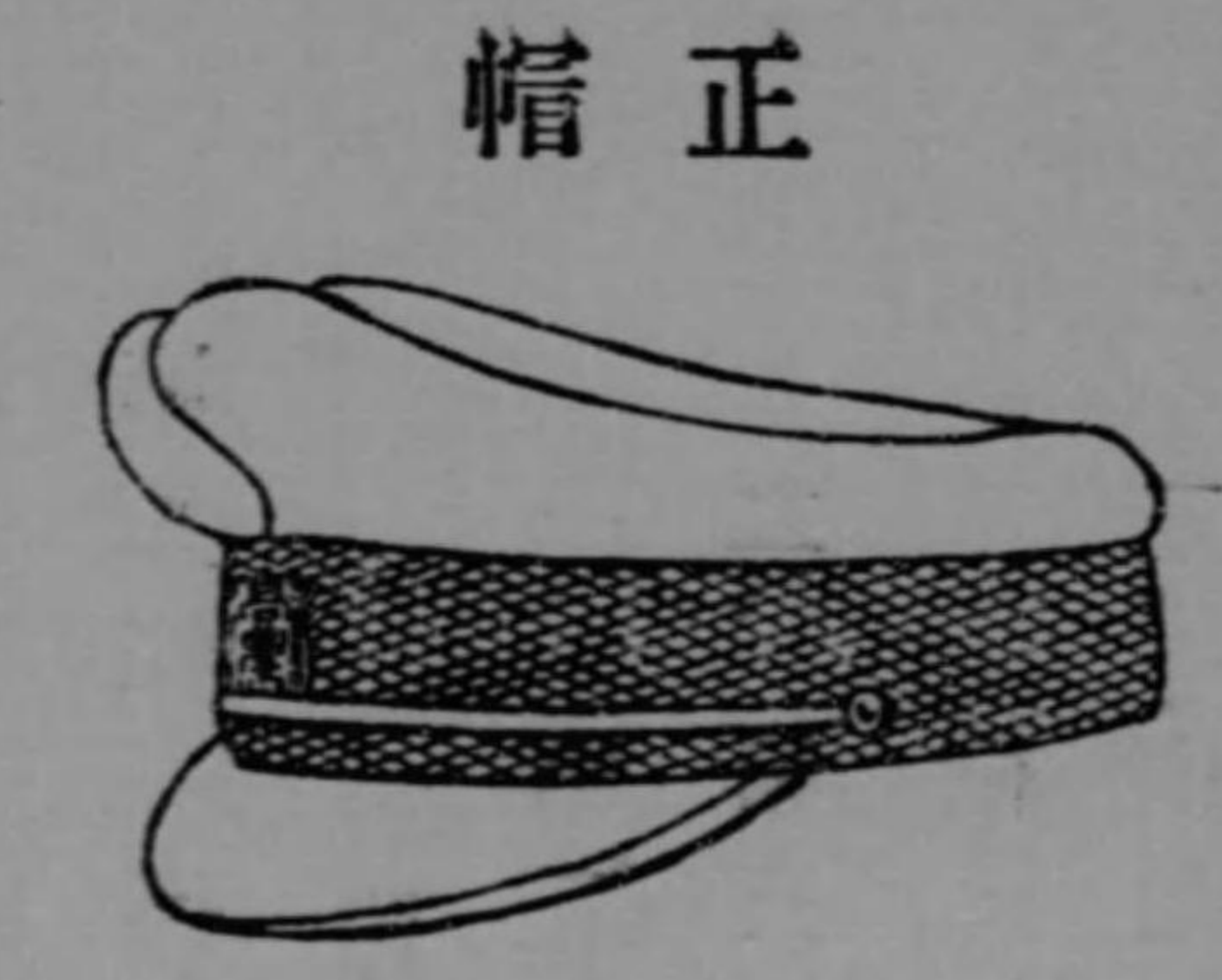
農學 林學 土木學 科 作業服袴

袴

九一



帽略



帽正

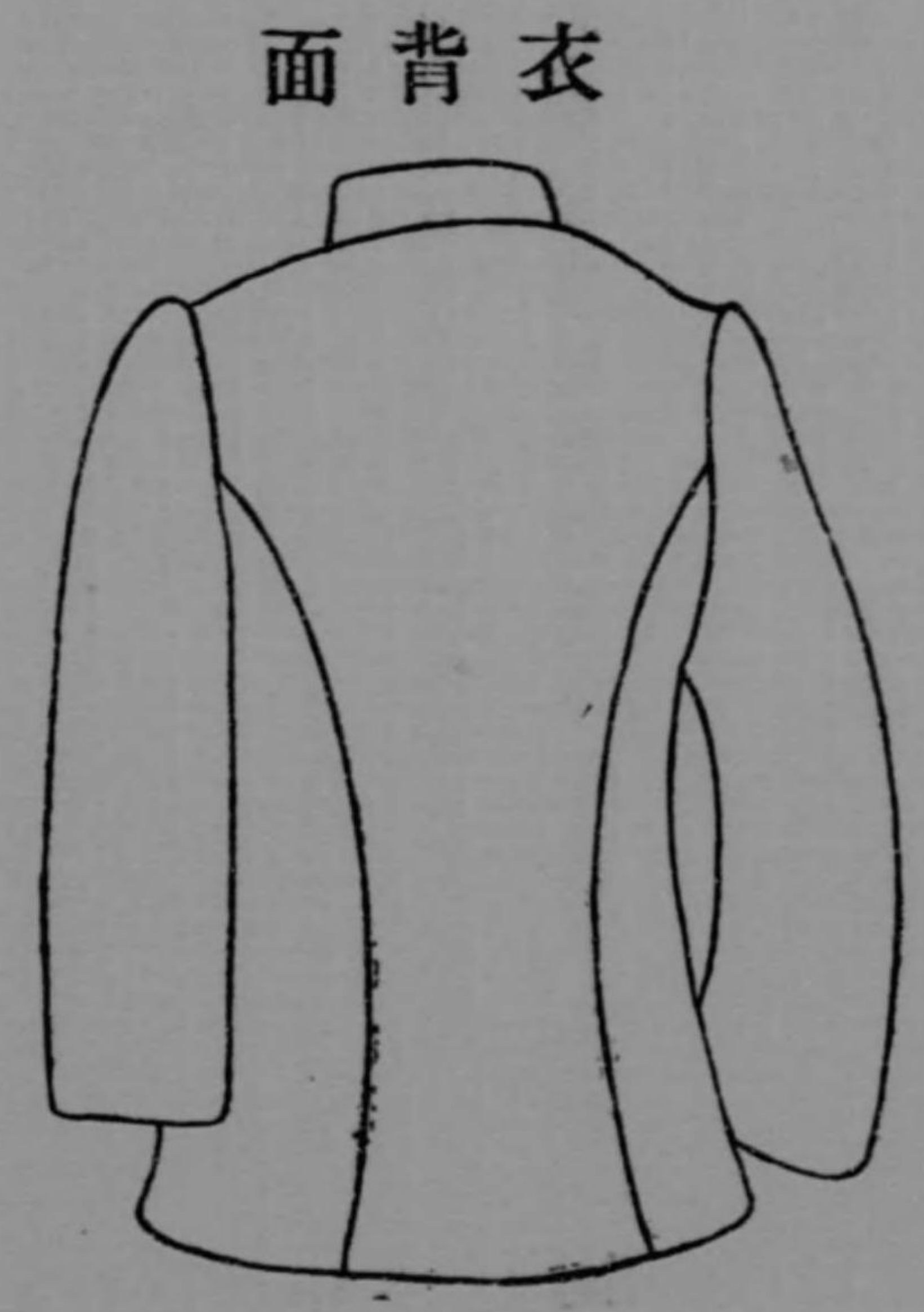
細則



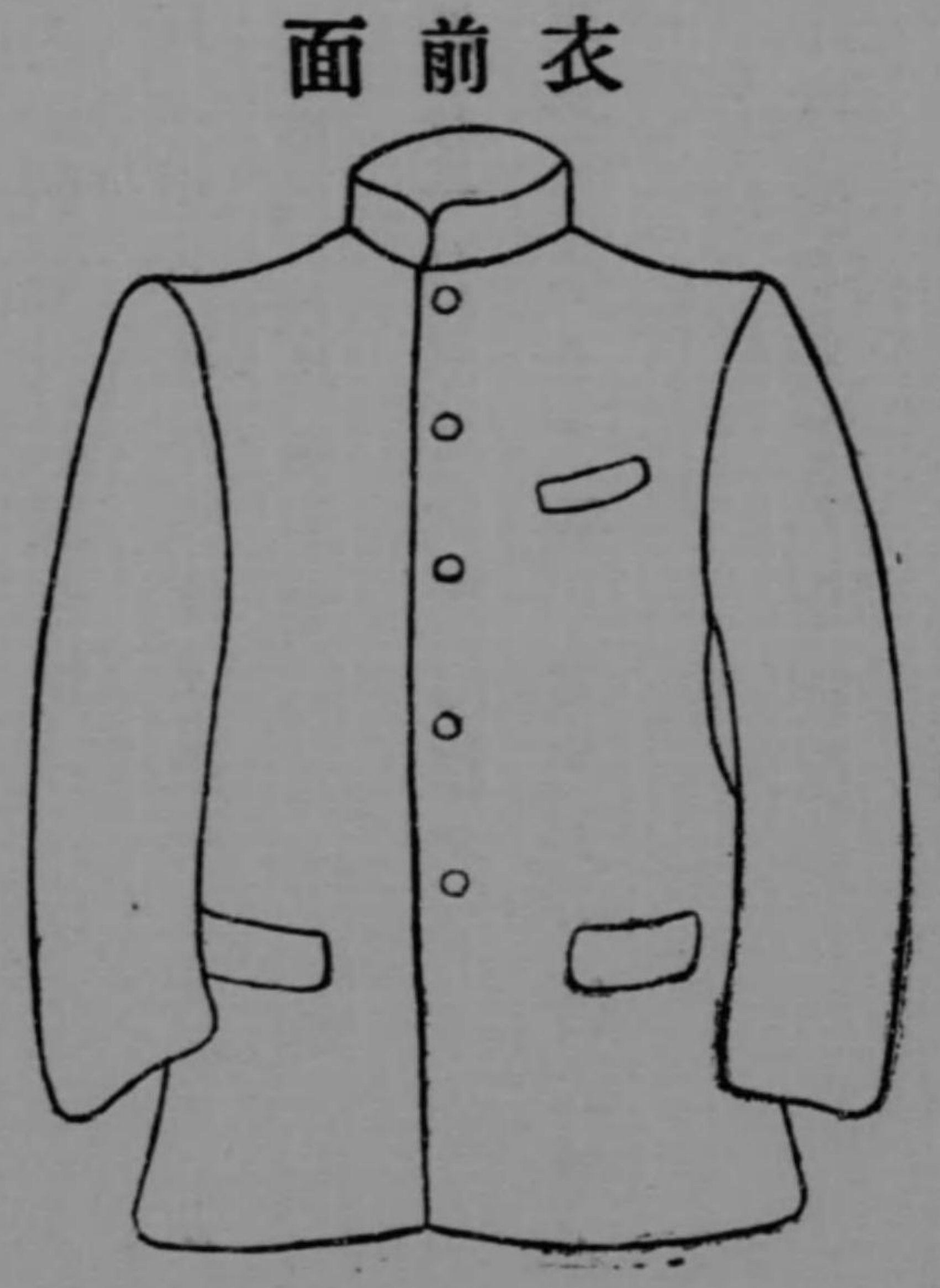
鈕



前章



面背衣



面前衣

九〇

四、第一條中衣地質ノ項ノ改正ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行
ス但シ本改正規定施行以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ
依ルコトヲ得

六、寄宿舎規程(大正十一年九月十三日制定)

第一條 寄宿舎ハ本校學生ヲ寄宿セシムル所トス

第二條 學生入舎ノ際ハ保證人連署ノ上入舎願ヲ學校長ニ差出スヘ
シ

第三條 舎生ハ猥リニ退舎スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ
依リ退舎セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上生徒主
事ヲ經テ學校長ニ願出ツヘシ疾病ニ因ルモノハ學校醫ノ診斷書ヲ
添附スルヲ要ス

第四條 寄宿舎ニ委員六名室總代若干名ヲ置ク委員ハ舎生ノ互選ニ
依ル候補者中ニ就キ學校長之ヲ命シ室總代ハ室員ノ互選ニ依リ生
徒主事之ヲ命ス

委員長及室總代ノ任期ハ一學期間トス
第五條 委員ハ生徒主事及學生課員ノ指揮ヲ承ケ舎内一般ノ風紀衛
生及會計、炊事等ノ事ニ當リ兼テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコト
ヲ掌ル

第六條 室總代ハ室内整理ノ責ニ任シ兼テ室員ヲ代表ス

第七條 各室員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム

第八條 舎内日課時限ハ學校長ノ許可ヲ受ケ生徒主事之ヲ定ム

第九條 起床、就褥、喫飯及人員點檢ノ時刻等ハ振鈴、喇叭又ハ半鐘ヲ以
テ之ヲ報ス

第十條 舎内ニ在リテハ靜肅ヲ守リ他人ノ勉學及安眠等ヲ妨害スル

所爲アルヘカラス

第十一條 常ニ室内外ノ清潔整頓ニ努メ舍内ニ於テ荷モ不潔汚穢ノコトナキ様留意スヘシ

第十二條 常ニ火氣ノ取扱ニ注意シ決シテ危險ノ所爲アルヘカラス

第十三條 室内備付ノ器具ハ猥リニ所定ノ位置ヲ變ヘ又ハ模様更ヘヲ爲スヘカラス

第十四條 修業上必要ノ書類及物品ノ外ハ生徒主事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帯スルコトヲ得ス

第十五條 荷物ヲ門外ニ持チ出タサントスルトキハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條 舍内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者亡失者判明セサルトキハ舍内又ハ室内一同ノ者ヲシテ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十七條 舍内ニ於テハ上草履又ハ「スリッパ」ノ外用フヘカラス

第十八條 火災其ノ他非常ノ事變アル場合ニハ舍生一同協力シ生徒主事及職員ノ指揮命令ニ從ヒ危害ノ防止ニ盡カスヘシ

第十九條 疾病ニ罹リタル者又ハ金錢物品ヲ紛失シタル者アルトキハ速ニ本人又ハ室總代ヨリ其ノ旨學生課ニ届出ツヘシ

第二十條 舍内ニ談話室、圖書室、會議室及娛樂室等ヲ設ケ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ使用セシム

第二十一條 食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スル者ハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條 定時間外若シ入浴ノ必要アルトキハ豫メ學生課ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十三條 外來人ニ面會スルトキハ必ス應接室ニ於テスヘシ但シ止ムヲ得サル場合ニ於テハ學生課ノ許可ヲ受ケ其ノ他ノ室ニ於テ

面會スルコトヲ得

第二十四條 人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ於テ生徒主事又ハ學生課員ノ點呼ニ應スヘシ但シ病氣其ノ他ノ事故ニ依リ點檢ヲ受クルコト能ハサル者ハ其ノ旨豫メ届出ツヘシ

第二十五條 止ムヲ得サル事情ニ依リ所定ノ時限外ニ外出セントスルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十六條 疾病ノ爲メ缺席缺課シタル場合ハ其ノ當日ハ外出スルコトヲ得ス但シ生徒主事ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 外出中止ムヲ得サル事故ニ依リ歸舍時限ニ遅レタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ翌日中ニ届出ツヘシ

第二十八條 止ムヲ得サル事情ニ依リ外泊又ハ旅行セントスルトキハ豫メ其ノ事由日數及外泊先又ハ旅行先ヲ記シ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ歸舍ノ際ハ宿所先ノ證明書ヲ差出スコトヲ要ス

外出中俄ニ外泊スルノ必要ヲ生シ前項ノ手續ヲ履ム能ハサルトキハ當日歸舍時限マテニ其ノ事由ト居所トヲ届出テ歸舍ノ際宿泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ

第二十九條 疾病ニ罹リタル者ハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療ヲ受ケシメ重病傳染病若ハ全治ニ日數ヲ要スルトキハ期間ヲ定メ入院又ハ外泊セシムルコトアルヘシ

第三十條 食費及雜費ハ指定ノ日ニ必ス之ヲ支拂フヘシ

七、寄宿料規程(大正十一年九月十三日制定)

第一條 本校寄宿舎ニ入舎スル者ハ寄宿料ヲ納付スヘシ但シ特待生ニハ之ヲ免除ス

第二條 寄宿料ハ一箇年金拾六圓五拾錢トス

第三條 寄宿料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ之ヲ徴收ス

第一期 自四月 至八月 金六圓

第二期 自九月 至十二月 金六圓

第三期 自一月 至三月 金四圓五拾錢

第四條 寄宿料ハ第一期ハ四月十一日ヨリ同十五日マテ第二期ハ九月十一日ヨリ同十五日マテ第三期ハ一月十一日ヨリ同十五日マテ

ニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第五條 半途入舍スル者ハ其ノ期ノ寄宿料ヲ一箇月金壹圓五拾錢トシ月割ヲ以テ入舍ノ日ヨリ五日以内ニ納付スヘシ

前項ニ依リ算出シタル金額其ノ期ノ全額ヨリ多キトキハ其ノ期ノ全額トス

第六條 寄宿料徴收期日以前ニ退舍スルモノハ一箇月金壹圓五拾錢ノ月割ヲ以テ即時納付スヘシ

第七條 一旦納付シタル寄宿料ハ半途退舍スルト雖之ヲ返付セス

第八條 寄宿料ヲ期限内ニ納付セサルトキハ本人ニ催告シ尙納付ヲ怠ル者ハ本校規則第二十八條ニ準シ處分ス

八、 授業料徴收規程 (大正十一年九月二日制定)

第一條 授業料ハ左ノ期間内ニ之ヲ徴收ス

第一期 四月十一日ヨリ同十五日マテ

第二期 九月十一日ヨリ同十五日マテ

第三期 一月十一日ヨリ同十五日マテ

第二條 本校規則第五十條第二項、第五十一條ノ規定ニ該當スルモノハ其ノ事項發生ノ日ヨリ五日以内ニ授業料ヲ納付スヘシ

第三條 授業料ヲ徴收期限マテニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ催告

後尙怠納五日以上ニ亘ル者ハ其ノ出席ヲ停止ス但シ特別ノ事情ニ依リ會計課ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條 實驗實習費ヲ徵收スルトキハ別ニ其ノ金額及徵收日ヲ告示ス

第二條及第三條ノ規定ハ實驗實習費ニ關シ之ヲ準用ス

九、通學生規程(大正十一年九月十四日制定)

第一條 通學生ハ本校ニ於テ適當ト認ムル宿所ニ寄宿スヘキモノトス

第二條 通學生其ノ宿所ヲ定メントスルトキハ豫メ宿所願ヲ差出生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ宿所變更ノ場合亦同シ

宿所願記載事項ニ變更ヲ生シタル場合ハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

第三條 通學生ハ本校學生二名以上同宿スヘシ但シ父兄其ノ他尊屬

ノ居所ヨリ通學スル者又ハ已ムヲ得サル事情アル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ日ヲ限リ之ヲ變更セシムヘシ

第五條 通學生ハ本校所定ノ標札ニ姓名ヲ記載シ之ヲ宿所ノ門戸ニ掲クヘシ但シ本校ノ學籍ヲ脱シタルトキ又ハ休學中ノ者ニシテ學

校所在地ヲ去ラントスルトキハ直ニ標札ヲ學生課ニ返付スヘシ

第六條 通學生ニシテ旅行、外泊又ハ歸省一週間以上ニ亘ルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ學生課ニ届出ツヘシ

第七條 通學生ノ宿所ハ本校職員隨時之ヲ點檢スヘシ

十、非常警備及手配規程（大正十二年一月三十一日制定）

第一 警備

- 第一條 暖爐又ハ火鉢使用中ハ巡視及小使時々各室ヲ巡視シ火氣ノ疎漏ナキ様注意スヘシ
- 學生控所又ハ一時授業ヲ爲サル教室等ハ特ニ毎時間授業開始後十分以内ニ之ヲ巡視スヘシ
- 第二條 終業又ハ退廳ノ際ハ小使直ニ暖爐火鉢等ノ殘火ヲ取除キ火氣全ク去リタル後叮嚀ニ之ヲ掃除スヘシ暖爐又ハ火鉢使用中ハ職員退廳ノ際巡視又ハ小使ニ其ノ旨ヲ告ケ退廳スヘシ
- 第三條 寄宿舎ニ於テハ學生不在中小使時々各室ヲ巡視シ火氣ヲ警戒スヘシ
- 寄宿舎生ハ始業就寢又ハ外出十分前各自使用ノ火鉢ヲ火氣ノ疎漏ナキ様室外廊下ニ出タシ小使ハ直ニ其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第四條 炊事場及風呂場ニ於テハ火夫及炊夫常ニ火氣ヲ警戒シ用火後ハ能ク其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第五條 火氣及焚灰等取除キ及運搬ノ際ハ疎漏ナキ様能ク注意シ取除キタル火氣及焚灰等ハ一定ノ場所ニ持チ行キ充分之ヲ始末スヘシ

第六條 小使火夫及炊夫ハ火氣焚灰等ヲ取除キ其ノ始末ヲ終リタルトキハ直ニ之ヲ宿直員ニ報告スヘシ

宿直員前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ巡視寄宿舎ニ在リテハ小使ト共ニ之ヲ臨檢シ萬一ニモ過失ナキ様注意スヘシ

第七條 室ノ出入口ニ鎖鑰ヲ施ス必要アルモノハ火氣ヲ取除キタル後二時間ヲ經過シ二回以上點檢シタル上之ヲ施スヘシ

第八條 夜間ハ宿直員一回以上及巡視二回以上各建物ノ内外ヲ巡視シ萬事警衛ノ任ニ當ルハキハ勿論巡視ノ際特ニ火氣ニ注意スヘシ

寄宿舎ニ在リテハ舎生就寢一時間後火夫又ハ小使一回以上舎内ヲ
巡視スヘシ

第九條 構内ニ在リテハ特定ノ場所以外ニ於テ喫煙又ハ焚火ヲ爲ス
ヘカラス

煙草吸殻ハ必ス火鉢又ハ灰吹ニ棄入スヘシ

第十條 暖爐火鉢運火器等使用中ハ破損ノ箇所ナキ様常ニ注意シ若
シ之ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ使用ヲ禁シ修理ヲ加フヘシ
煙突ハ毎週一回之ヲ掃除スヘシ

第十一條 倉庫ノ入口及窓ノ非常口ハ會計課ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミ
其ノ完全ヲ計リ且ツ常ニ目塗用土ヲ所定ノ場所ニ備ヘ置キ臨機使
用ニ差支ナキ様注意スヘシ

第十二條 職員及傭人ハ終業又ハ退廳ノ際書類器具及機械等ハ夫々
整頓シ容器アルモノハ之ニ納メ鎖鑰アルモノハ之ヲ施シ所定ノ場

所ニ置キ又非常ノ場合第一ニ持退ノ要アル重要書類其ノ他貴重物
品ノ容器ニハ見易キ箇所ニ非常持退ト朱書シタル紙片ヲ貼付シ置
クヘシ

第十三條 火災警備ニ付テハ職員學生及傭人等一同常ニ能ク注意シ
苟モ災害ノ起ラサル様心掛クヘシ若シ之ニ關シ不都合ノ行爲又ハ
處置ヲ認メタルトキハ臨機ノ措置ヲ爲シ直ニ建物監守者擔任教官
又ハ會計課長ニ之ヲ通報スヘシ

第十四條 火災風害等非常事變豫防ノ爲メ建物監守者及會計課長ハ
常ニ警備監督ノ任ニ當ルヘシ
實驗又ハ實習ニ火氣ヲ使用スル場合ハ擔任教官主トシテ其ノ責ヲ
負ヒ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

第十五條 火災其ノ他非常事變ノ警備ニ關シ若シ不都合ノ行爲又ハ
處置ヲ認メタルトキハ建物監守者擔任教官又ハ會計課長ハ之ニ嚴

重ナル戒諭ヲ加ヘ又ハ適當ノ措置ヲ爲シ之ヲ學校長ニ報告スヘシ

第二 手配

第十六條 校内ノ失火等非常事變ノ際ハ宿直員、巡視又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ハ直ニ最寄備付ノ消火器又ハ給水栓及布ホース等ヲ以テ手後レナキ様相當ノ手配ヲ爲シ同時ニ當該建物監守者、擔任教官、會計課長及學校長ニ急報スヘシ

第十七條 校内ノ出火又ハ近火等ニシテ多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニハ前條ノ外警鐘及其ノ他ノ方法ヲ以テ廣ク之ヲ急報シ且ツ速ニ警察署ニ報知スヘシ

第十八條 前條ノ急報ヲ聞キタルトキハ職員及傭人一同直ニ駆付ケ上官ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部署ニ就クヘシ

學生ハ寄宿舍玄關前庭ニ集合シ各掛長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十九條 校内失火又ハ近火ニシテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ庶

務課員又ハ宿直員ニ於テ先ツ御眞影並勅語謄本ヲ校内安全ノ場所ニ奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第二十條 火災ノ手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

(イ) 防火掛

(ロ) 運搬掛

(ハ) 警戒掛

第二十一條 各掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

(イ) 防火掛

一、校内出火ノ際ハ直ニ備付ノ消火器及唧筒ヲ使用シ專ラ消防ヲ爲スコト

二、近火ノ際ハ適宜ノ場所ニ唧筒ヲ引出シ延燒ノ虞アルトキハ建物ニ水ヲ注キ充分豫防ヲ爲スコト

三、防火上障害ト認ムルモノハ之ヲ撤去又ハ破壊スルコト
運搬掛

一、校内ノ書類、圖書、器具、機械其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬
スルコト

二、物品ヲ運搬スル順序ハ火元最寄ノ場所ヨリ始メ且ツ「非常持
退」ト記シタル貴重品ヲ先ニシテ書類、圖書其ノ他一般ノ物品ニ
及フコト

(ハ) 警戒掛

一、學校ノ周圍ヲ警警シ本校職員、學生、備人其ノ他官衙ノ職員、警
官、消防夫及常時出入ノ諸商人、職工ノ外ハ入ルヲ禁止スルコト
二、出入口ニ受付所ヲ設ケ出入者ヲ監視シ且ツ駆付人氏名等ヲ
書留メ置クコト

三、始終校内ヲ巡邏シ盜難等ヲ警戒スルコト特ニ搬出シタル物

品ニハ監視者ヲ付シ嚴重ニ取締ヲ爲スコト

四、倉庫ヲ警戒シ其ノ出入口及窓等ニ目塗ノ用意ヲ爲シ物品運
搬ノ上又ハ運搬ヲ俟タス直ニ之ヲ締切ル等適宜手配ヲ爲スコ
ト

五、夜中ニアリテハ玄關ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈シ
又各所入口開扉ノ用意ヲ爲スコト

第二十二條 各掛ニ長ヲ置キ學校長之ヲ命ス但シ非常ノ際掛長駆付

ケ得サルトキハ臨機在校職員上官ノ指揮ヲ受ケ其ノ任ニ當ルヘシ
職員及備人ノ部署ハ別ニ之ヲ定ム

學生ノ部署ハ寄宿舎生ニ就キ別ニ之ヲ定ム通學生ハ學生課長又ハ
教官ノ指揮ニ從ヒ臨機適當ノ部署ニ就クモノトス

前項職員、備人及學生ノ部署ハ非常ノ際臨機之ヲ變更スルコトアル
ヘシ

第二十三條 左ノ非常用具ハ各掛長ニ於テ能ク之ヲ整頓保管シ唧筒其ノ他ノ器類ハ時々之ヲ點檢試用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

- 一、唧筒
- 一、消火栓ホース及同筒先
- 一、梯子
- 一、鋸、掛矢及頭布(刺子)
- 一、高張提灯及非常用提灯
- 一、消火器
- 一、立蕃桶
- 一、鴛口及刺股
- 一、運搬用踏架ツツク袋
- 一、蠟燭及摺附木

第二十四條 消火器ハ各建物内適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ
消火器ニハ藥品充填ノ年月日及其ノ有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前藥品ノ充填換ヲ爲スヘシ當該建物監守者及會計課員ハ時々消火器ノ効力ヲ試験スヘシ

第二十五條 職員、學生及傭人ハ平素消火器ノ所在及使用法ヲ心得置

キ非常ノ場合之ヲ有効ニ使用スル様心掛クヘシ
每學期一回以上職員、學生及傭人一同火災手配ノ演習ヲ爲スヘシ但シ警鐘ヲ打チ臨時演習ヲ行フコトアルヘシ

十一、外國人特別入學細則 (昭和二年三月三十一日制定)

第一條 文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ外國人ニシテ本校ノ教授ヲ受ケントスルモノアルトキハ設備上支障ナキ場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ノ志願者ハ其ノ學修セントスル學科目ヲ定メ入學願書履歷書、修業學校長ノ修業證明書並外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館或ハ監督署ノ紹介書ヲ添へ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 志願者ノ學力ヲ試驗ニ依リ檢定スル必要アル場合ハ入學檢定料金五圓ヲ徵收ス

第四條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ休學又ハ退學セントスル者ハ入學出願ノ際紹介ヲ受ケタル官署ヲ經テ出願スヘシ

第五條 在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六條 本細則ニ定メナキモノハ總テ本校規則中選科生ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

第七條 朝鮮人及臺灣人ニシテ特別入學ヲ願出ツルモノアルトキハ當分ノ内本細則ニ依リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

十二、校旗規程

第一條 校旗ハ本校ヲ代表スル徽幟トス

第二條 校旗ハ左ノ制式ニ依ル

(制式略ス)

第三條 校旗ニ對シテハ職員、學生常ニ敬虔ノ念ヲ以テ之ヲ尊重擁護スヘシ

第四條 校旗ハ校長室ニ保管シ其ノ出納ハ庶務課長之ヲ掌ル但シ非常ノ場合ニ於テハ職員、學生ハ校旗ニ對シ臨機ノ處置ヲ爲スモノトス

第五條 校旗出場ノ場合左ノ如シ

一、全校ノ行動ニシテ學校ヲ表示スルトキ

二、本校ニ於ケル重要ナル儀式舉行ノトキ

三、其ノ他學校長ノ特ニ必要ト認メタルトキ

第六條 校旗捧持ノ爲旗手一名、副旗手二名ヲ置ク

旗手ハ校旗ノ捧持ニ任ス副旗手ハ常ニ旗手ニ隨從シ旗手事故アルトキハ順次之ニ代ルモノトス

第七條 旗手及副旗手ハ第三學年生中品行方正ニシテ體位勝レ學業成績優秀ナル者ニ就キ學校長之ヲ命ス

第六 職員 (就職順)

學校長

從四位 勳三等 農學士

上原種美

教授

修身

(兼) 學校長

上原種美

森林理水及砂防工學、森林工學

植物學及植物病理學

(在外研究中)

養蠶學、動物學、實驗遺傳學

森林利用學、林産製造學、數學

物理學、氣象學、數學

林政學、財政學、法學通論、行政法大意

農業機械學、測量學

應用力學、材料及施工法、道路及橋梁

化學及分析、土壤學及肥料學

森林經理學、造林學

農業經營學、農政學、植民政策、經濟學

從五位 林學博士 林學士

伊藤武夫

從五位 農學士

高橋隆道

從五位 文藝學士

岡言智

從五位 農學博士 農學士

宇田一

從六位 陸軍歩兵少尉 林學士

關谷文彦

正六位 陸軍歩兵少尉 林學士

北川久五郎

從五位 林學士 法學士

川田繁治郎

正六位 陸軍歩兵少尉 農學士

河合隼人

正六位 農學士

松田俊正

正六位 農學士

稻川次郎

正六位 農學士

山本光政

從六位 農學士

中野清作

生徒主事

職員

畜産學、家畜營養論、獸醫學

園藝學

修身、獨逸語、英語

農業工學、農業水利學、耕地整理論

作物學及育種學

助教授

養蠶學、昆蟲學

園藝實習、園藝學

測量實習、林學實習、測樹學

林學實習、林產製造學、森林保護學

應用水理學、測量實習

原動機及揚水機、機械學實習

農產製造學、化學

生徒主事補 園藝得業士

林學得業士

陸軍歩兵少尉正八位

工學得業士

工學得業士

農藝化學得業士

中野誠一

藤村次郎

鷺尾順義

千種虎正

植田宰輔

篠田平三郎

宮入武雄

野知里慶助

馬岡隆清

近坂百一

内海市次郎

長瀬重藏

數學、測量實習、應用力學

講師

農場實習、作物學

礦物學及地質學

體操

肥料學

農業經營學

林政學、森林法規

獨逸語

農學大意

移植民地農業

農政學

農業土木學得業士

小山桂一

從六位

香月喜六

從七位

矢作菊藏

陸軍工兵少佐

米倉嘉弼

正六位勳五等功五級

恒藤規隆

正五位勳五等

大槻正男

農學博士農學士

蘭部一郎

京都帝國大學助教授

加藤行信

從六位

橫川十二

東京帝國大學教授

高山卓爾

正五位林學博士林學士

細井勇

三重縣立實業教員養成所教諭從六位

九州帝國大學教授

從五位農學士

庶務課

職員

課

長助教授(兼)書記

篠田平三郎

書記

小野春次

囑託

伊藤良藏

雇

丸川倫

會計課

課

長物品會計官
吏出納官吏
(兼)正七位
記八等

池田松太郎

書記

小野春次

書記

藤原佐之吉

雇

稻葉一郎

雇

鈴木巧

雇

近藤米三郎

雇

增井幸次郎

教務課

課長

教授

高橋隆道

囑託

樋口庄太郎

雇

山川忠雄

學生課

課長

教授

中野清作

教授

關谷文彦

教授

鷺尾順義

生徒主事補助教授

宮入武雄

舎監助教授

内海市次郎

舎監助教授

野知里慶助

舎監講師

米倉嘉弼

舎監囑託

田中宗三郎

雇

重倉龜太郎

職員

圖書課

課長

教授

宇田 一

書記

藤枝 備一

雇

牧戸 寛一

雇

小野 篁

學科主事、農場長、演習林長

農學科主事

教授

高橋 隆道

農業土木學科主事

教授

河合 隼人

林學科主事

教授

伊藤 武夫

農場長心得

講師

香月 喜六

演習林長

教授

伊藤 武夫

囑託

體操

陸軍歩兵特務曹長
七等

田中 宗三郎

農場經營

劍道教師

柔道教師

體操

弓道教師

歌聲

配屬將校

教練

陸軍歩兵少佐
正六位勳四等

清水 定次郎

校醫

從六位

小芝 一雄

助手

農場勤務

農學科勤務

清水 敦

職員

工藤 仙次

職員

化學教室勤務
 物理學教室勤務
 農學科勤務
 農學科勤務
 農業土木學科勤務
 農學科勤務
 同
 林學科勤務
 農業土木學科勤務
 農業土木學科勤務
 林學科勤務
 同
 農學科及氣象觀測勤務

一二三

內藤 秀男
 丸山 増次郎
 小野 篁
 増地 良秋
 本多 爲三郎
 矢頭 猷一
 土井 孫悅
 山川 正郎
 森田 宗二郎
 岩崎 祐一
 平島 直材
 神庭 英
 永井 正

林學科勤務
 農學科勤務

工手

川口 了
 今西 清
 吉田 茂三郎

第七學 生

昭和五年十二月一日現在

一、學生氏名 (五十音順)
農學科第三學年

阿部 三郎 德島	荒井 進 福井	飯森 政義 石川
井上 石衛 長崎	岩田 明 三重	岩田 茂 三重
岩中 信市 三重	海野 九郎 三重	加藤 寛 三重
木下 英雄 愛知	熊谷 又吉 長野	小林 茂 愛知

學生

一二三

小林 幸丸 三重
 近藤 四郎 京都
 杉浦 資良 愛知
 田中 收治 愛知
 辻 藤次郎 三重
 中根 喜猷 三重
 西村 清一 京都
 眞鍋 藏六 山口
 森田 安雄 富山

小堀 英治 福岡
 阪中 憲一 和歌山
 砂川 尙一 兵庫
 田中 昇三 東京
 富野 耕治 愛知
 永田 義雄 愛知
 長谷川 武 愛知
 港井 清七郎 京都
 柳 彰三 三重

小山 美則 大分
 清水 武夫 三重
 諏訪 三郎 岐阜
 田村 十治 山口
 中津 繁雄 岐阜
 西野 半三 大阪
 松原 喬夫 島根
 村田 武夫 三重
 安田 隆一 山口

農學科第二學年

有門 博樹 福岡
 岡田 行生 三重
 大藪 大福 岡

有田 昌璋 島根
 岡本 敏一 岡山
 尾山 万代 三重

井上 清次郎 佐賀
 萩野 四郎 山形
 蔭山 武雄 兵庫

笠井 由一 德島
 熊代 清 大阪
 小林 成夫 三重
 佐々木 吉雄 石川
 田村 惇 廣島
 萩原 敏郎 靜岡
 平島 龍茂 福岡
 正木 榮太郎 大阪
 森 定治郎 愛知
 山脇 一誠 大阪
 若林 知貞 三重

片山 晴 愛知
 高本 秀政 愛媛
 小林 久夫 岡山
 澤田 義郎 愛知
 辻 厚美 福岡
 秦 良治 千葉
 細野 英男 岐阜
 松岡 清治 三重
 森 圭一 福岡
 吉川 利太郎 奈良

菊池 和雄 愛媛
 近藤 球一郎 岡山
 佐々木 善次郎 秋田
 高柳 庄市 靜岡
 内藤 淳一 岐阜
 原 信彦 福岡
 前田 一高 知
 茂利 弘三 三重
 森 政雄 大阪
 芳野 修 愛媛

農學科第一學年

池田 親嘉 福岡

池田 哲彌 岡山

井原 正郎 山口

飯田	清三重
白井	俊郎岐阜
河內	龍也福岡
岸村	彌七三重
小山	喜三郎京都
神	修福岡
庄野	勝福岡
田中	正雄鳥取
戶上	正三重
島中	武彦鹿兒島
松崎	寅男長野
森泉	元重長野
分部	正三重

今川	文雄山口
緒方	正希福岡
河原	松實福岡
北岡	松男三重
齋藤	大藏山形
實森	又太郎靜岡
城間	盛茂沖繩
出口	武三重
仲野	信太靜岡
東	勇和歌山
萬谷	俊美廣島
柳	直幸福岡

岩崎	敬三大阪
加藤	榮一愛知
岸	信夫兵庫
小出	富男福岡
崔	供奎朝鮮
下田	理作熊本
鈴木	一郎三重
出坂	一衛石川
西川	義敏長崎
平井	守久愛知
向	勇夫鹿兒島
吉田	伍市福岡

農業土木學科第三學年

荒川	清愛知
伊藤	俊夫三重
大月	文雄岡山
河野	敬之福岡
小山	實新潟
下川	一雄三重
關口	元吉群馬
近石	義雄香川
戶田	正雄富山
行方	文吾三重
服部	進三重
松田	高朝鹿兒島

石崎	勝也三重
糸川	隆雄三重
大西	四郎三重
岸田	五郎三重
坂口	傳一郎三重
菅	英勳岡山
高島	武三重
都竹	好雄岐阜
中井	清三重
根本	豐男東京
福野	松雄滋賀
宮崎	佳久東京

井田	三津雄三重
浦邊	良雄千葉
川北	賢三重
木下	榮吉三重
志田	房次三重
鈴木	定吉新潟
田上	正男茨城
出水	千代義香川
中島	亮大阪
服部	一男奈良
細川	庄平香川
柳井	貞二廣島

山岡次郎三重

渡部武愛媛

農業土木學科第二學年

石川與一三重

岩崎力三重

植田勇一香川

太田新勇三重

金尾修而岡山

鐘夕江吉雄佐賀

川崎光郎三重

久保義生三重

桑原忠雄靜岡

小寺德夫大分

佐藤直三重

城出賤夫三重

田原輝男三重

辻亥輪男大阪

中村基一兵庫

中山重治富山

西井俊三三重

西村亮一三重

野呂太郎三重

羽生憲治鹿兒島

原政一三重

関泳甫朝鮮

福井重男京都

藤谷明貞三重

船橋章次愛知

古川俊良滋賀

牧戶市太郎三重

樹田和夫愛知

松井信雄靜岡

松本和郎三重

峰鬼子男三重

村田照雄岐阜

目見田政次郎愛媛

森岡米一三重

森島美雪岐阜

安田俊直長野

吉澤進福井

吉田實岐阜

米川幹正三重

渡邊勝三重

農業土木學科第一學年

赤堀三郎三重

井川武士香川

池上武一大阪

石井均大分

石塚金八香川

稻垣清利三重

稻田長德三重

稻田五味三福岡

岡崎美景高知

大石芳次靜岡

笠原太吉福島

河野富男山口

菅親太愛媛

菊岡武男三重

栗田億一靜岡

小菅一夫大阪

齋藤政善栃木

坂下永次郎三重

島上正三福岡

新谷八太郎福岡

杉森次郎三重

鈴木正靜岡

瀬古孝一三重

高橋數雄香川

谷口末雄三重

田端清男三重

辻好基三重

外山 義治 三重
 廣谷 昇 大阪
 增井 正 三重
 八尋 秀一 福岡
 吉田 文治 福岡

中村 茂男 鹿兒島
 藤原 庄一郎 靜岡
 松岡 英夫 和歌山
 山内 務 三重
 山下 茂 福岡

林學科第三學年

今津 新太郎 岐阜
 岡野 三十四 三重
 大西 二郎 高知
 勝部 忠治 島根
 小林 米藏 三重
 田上 一生 三重
 近澤 武生 三重

梅田 德藏 三重
 岡森 清治郎 三重
 大野 靜愛媛
 加藤 清 三重
 酒井 源一 愛媛
 田中 孝雄 佐賀
 柘植 隆一 三重

永田 重道 三重
 福田 利雄 岡山
 松本 政一 三重
 若林 二郎 岡山

八藤 松男 岡山
 藤田 修一 岡山
 宮田 俊雄 三重
 廣部 誠自 三重
 本多 泰愛知
 吉田 泰治 新潟

林學科第二學年

赤尾 國三郎 岐阜
 石黒 祐三 富山
 宇津 英一 島根
 尾島 憲清 富山
 駒田 守三 三重
 佐藤 康吉 山形
 杉山 今吉 愛知
 富永 清次 佐賀

秋根 昌勝 福岡
 岩本 勝美 鹿兒島
 榎本 孝夫 和歌山
 清末 文雄 大分
 佐久間 利秋 三重
 塩入 利雄 長野
 砂原 英治 鳥取
 中井 吉人 三重

池知 一水 高知
 上平 達雄 奈良
 鬼塚 武男 熊本
 桐山 寛治 東京
 笹森 榮一 鹿兒島
 上甲 久雄 愛媛
 竹口 昇三 三重
 野田 忠士 三重

深田 安次郎 富山
 藤本 芳郎 三重
 松浦 進 宮崎
 宮石 又男 愛知
 森 孝三重
 柳瀬 友正 愛媛
 矢野 譽 榮兵庫
 矢野 喜久男 福岡
 山本 仁郎 新潟
 山脇 茂 京都

細野 三郎 滋賀
 村田 義一 三重
 矢仁田 恒義 熊本
 矢野 次雄 廣島

林學科第一學年

石原 博 富山
 石原 幹雄 熊本
 上杉 順二郎 三重
 上野 經彥 鹿兒島
 岡田 春博 高知
 小澤 貢 佐賀
 工藤 麟治 宮崎
 倉田 三千穗 長野
 須川 清一郎 三重
 高橋 健男 大阪
 田川 武一 三重
 武田 龍夫 三重
 戶田 唯美 廣島
 飛岡 善三郎 鹿兒島

伊東 誠衛 三重
 大森 三孝 福井
 川本 達四 廣島
 齋藤 澄雄 山形
 高山 勝德 熊本
 淡輪 銳一 福岡
 中川 繁夫 廣島

中澤 高司 靜岡
 中村 熊太郎 三重
 西原 憲一 愛媛
 西村 敏雄 京都
 原田 克己 愛知
 髭右近 英夫 石川
 本郷 卓爾 岡山
 松尾 武治 福岡
 八代 雄藏 山梨
 山崎 孝雄 高知
 山本 熊男 和歌山
 吉開 幸夫 福岡

西川 光夫 長崎
 根本 庄三郎 茨城
 平山 貞大 分
 三木田 武三郎 大阪
 山本 耕三 新潟
 吉田 幸夫 三重

農學科選科

瀧山 嚴 大阪
 塚田 英夫 千葉

齋藤 小吉郎 三重

農業土木學科選科

王家 麟 中華國
 加藤 積山 梨

林學科選科

尾崎 良雄 和歌山
 志方正二 兵庫

學生

二、學生數

一三四

學科	本科			選科生	研究生	合計
	第一學年	第二學年	第三學年			
農學科	四〇	四〇	三九	三		一二二
農業土木學科	四〇	四〇	三八	二		一二〇
林學科	三九	三八	三一	二	一	一一一
總計	一一九	一一八	一〇八	七	一	三五三

三、地方別學生數

道府縣	本科			選科生	研究生	合計
	農學科	農業土木學科	林學科			
北海道						
青森						
岩手			一	一		二
宮城						
秋田						
山形	二		二			四

學生

一三五

道府縣	農學科	農業土木學科	林學科	合計
福島		二		二
茨城		一	一	二
栃木		一		一
群馬		一		一
埼玉				
千葉	一	一		二
東京	一	二	一	四
神奈川				
新潟		二	三	五
富山	一	二	四	七
石川	三		一	四
福井	一	一	一	三
山梨				
長野	三	一		四
岐阜	五			五

學生

總計	中華民國	朝鮮	沖繩	鹿兒島	宮崎	大分	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川
一一九		一	一	二		一	一	二	一	一六	一	三	
一一八		一		三		三			一	七	一	三	七
一〇八				四	二	二	五	一	三	五	四	五	
三四五		二	一	九	二	六	六	三	五	二八	六	一一	七
七	一												
一													
三五三	一	二	一	九	二	六	六	三	五	二八	六	一一	七

學生

德島	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	三重	愛知	靜岡
二	五	二	四	一	二	二	一	三	六	四		二四	一二	四
	一	一	三			一	一	一	五	一	二	四八	三	六
	一	四	五	二	一	三	一	二	二	二	一	二九	四	一
二	七	七	一二	三	三	六	三	六	一三	七	三	一〇一	一九	一一
						一		一	一			一		
												一		
二	七	七	一二	三	三	七	三	七	一四	七	三	一〇三	一九	一一

第八 卒業生 (五十音順)

農學科第一回 二十八名

大正十四年三月卒業

- 自營 足立 俊正 愛知
- 京城公立農學校教諭 井出 高義 靜岡
- 朝鮮總督府殖産局技手 (傳岩名) 渡邊 孝太 新潟
- 自營 大柿 護 北海道
- 三重縣立名賀農學校教諭 大塚 俊司 靜岡
- 三重縣立度會農學校教諭 奥井英太郎 三重
- 新潟縣立栃尾農商學校教諭 (舊折谷) 大河内陽雄 三重
- 千葉縣立東金高等女學校 教諭 桑垣 傳護 千葉
- 新潟縣産業課技手 小林 梧郎 新潟
- 三重縣立松阪商業學校教諭 齋藤 武夫 山形
- 南米ブラジルに於て自營 貞永 三郎 山口
- 三重縣立員辨農學校教諭 志村 浩一 埼玉
- 京都帝國大學農學部大學院 學生 鈴木 橋雄 三重
- 千葉縣立多古農學校教諭 鈴木 良次 新潟
- 明治神宮社務所主典 宗宮 祐夫 岐阜
- 農林省農務局米穀課 (傳中西) 熊谷 三郎 京都
- 岡山地方專賣局技手 中森 作雄 三重
- 三重縣立宇治山田中學校 教員 野呂 真好 三重
- 三重縣立河原田農學校教諭 羽生 節 鹿兒島

東京府荏原町徳川生物研究所 平山 重勝 愛知

南米ブラジル、サンパウロ州セントラルリンハ、タンパコパテ 深山 景吉 滋賀

水戸地方專賣局水戸試験場技手 堀田 耕太 三重

三重縣立農事試験場技手 堀 五一 三重

自營 (舊正木) 木村 郁三 大阪

三重縣農會技手 松浦 幸也 三重

富山縣立水見高等女學校 教諭 水越 弘 三重

茨城縣立水戸農學校教諭 村田 三郎 山口

農林省農務局農産課 山本辰次郎 石川

農學科第二回 三十五名

大正十五年三月卒業

- 臺灣濱口鳳梨株式會社 出射 正次 山梨
- 愛知縣新城農蠶學校教諭 井上 善光 奈良
- 大阪府農會 上田 勇 大阪
- 愛知縣瀧實業學校教諭 岡垣内 匠 和歌山
- (死亡) 小川 亮一 栃木
- 農林省畜産試験場 萩野 周次 兵庫
- 三重縣立農事試験場 奥井亮三郎 三重
- 三重縣立四日市商業學校 教諭 小田 志郎 三重
- 朝鮮大邱慶尙北道迎日郡廳 技手 菊池 金治 岩手
- 大阪府立生野中學校教諭 菊池 武夫 岩手
- 高知縣立農事試験場技手 黒田 俊吉 靜岡

卒業生

京都帝國大學農學部學生	澤川 繁	山形	京都帝國大學農學部助手	平沼 延一	東京
山形縣農會	鳥貫 三郎	山形	東京府立農事試驗場技手	松本 直一	滋賀
名古屋市東邦瓦斯會社	相馬 世治	京都	自營	前野 軍太	三重
自營	高木 秀一	宮崎	京都帝國大學農學部學生	峰 長藏	和歌山
愛媛縣立伊豫實業學校教諭	田中 松夫	岐阜	自營	森井 儀一	三重
農林省農務局副業課	寺林傳太郎	富山	栃木縣上野原農學校長	森本 庫一	兵庫
兵庫縣瀧野町農業補習學校教諭	富永 重興	三重	大阪市役所土木部計畫課	森本 修三	愛知
熊本地方專賣局技手	中村 龍樹	福岡	兵庫縣水上郡小川農業公民學校教諭	山口 明	宮崎
名古屋地方專賣局見付出張所技手	沼田 滿	茨城	和歌山縣農事試驗場技手	山崎 賢一	和歌山
滋賀縣立今津中學校教諭	野澤 磊爾	愛知	山梨英和女學校教諭	山田 駒雄	山梨
青森縣勸業課技手	馬場 四郎	福島	大正十五年六月卒業	佐野 淡一	兵庫
靜岡縣立駿東農林學校教諭	長谷川 徳	愛知	自營		
農林省大宮種馬場	濱田 朝祐	埼玉			

農學科第三回

二十九名

昭和二年三月卒業	淺井 晃	東京	三重縣立蠶絲學校教諭	近藤 亮一	愛媛
東京府立農事試驗場技手	石淵 壽	熊本	徳島縣立麻植中學校教諭	佐藤須賀夫	大分
宮城縣農務課技手	一色 一雄	滋賀	大阪府立農事試驗場	杉山猶之助	三重
滋賀縣蒲生郡農會技手	伊藤 六郎	愛知	大阪市野村合名會社	須永 達雄	栃木
北海道廳	井原 稔	和歌山	秋田縣立農事試驗場技手	田中 稔	山形
京都帝國大學農學部學生	伊元貞三郎	島根	富山縣氷見農林學校教諭	谷畑 喜作	富山
兵庫縣穀物検査所技手	岩田 玉一	岐阜	南米ブラジルに於て自營	玉置 海三	和歌山
自營	岡村庄一郎	兵庫	京都帝國大學農學部助手	柘植 利久	三重
大阪府豊能郡農會技手	大林 廣次	靜岡	三重縣立種畜場技手	鳥羽 篤郎	三重
朝鮮大邱專賣支局河東出張所	工藤醇一郎	青森	京都帝國大學助手	中川 勝八	愛知
三重縣立實業教員養成所教諭	後藤 智	大分	高知縣香美郡檜山村實業公民學校教諭	長山 教一	高知
愛知縣農林技手			兵庫縣加東郡福田村補習學校教諭	野崎 清夫	岡山

卒業生

卒業生

自營 長谷川千秋 愛知 昭和二年五月卒業
 兵庫縣立姫路中學校教諭 春名 一明 兵庫 大分縣立杵築中學校教諭 澁井 健一 福島
 農林省畜産試驗場 藤岡 喜久 奈良 大阪府立農事試驗場 大塚 耕二 三重
 石川縣鳳至郡穴水町技術員米田 健吉 兵庫

一四二

昭和三三年三月卒業

農學科第四回

二十七名

京都帝國大學農學部學生 足立 昇造 三重 廣島縣三次高等女學校教諭 木村 虎雄 和歌山
 京都帝國大學農學部學生 五百井 亨 大阪 大坂市北田邊町桃山中學校 教諭 久保 常三 奈良
 埼玉縣農事試驗場 大橋 友二 富山 富山縣立農事試驗場 小林 勝治 兵庫
 千葉縣農事試驗場 大熊 忠二 岡山 岡山縣立林野高等女學校 教諭 小林 龍雄 長野
 宮崎縣農會技手 大西 保英 愛媛 京都帝國大學農學部學生 信部 初男 兵庫
 自營 川島 治幸 大阪 同 上 杉谷 文之 富山
 農林省畜産局 川島 三美 三重 香川縣立三豊農業學校教諭 田曾 純吾 廣島

高知縣農務課技手

田中 芳市 島根

京都帝國大學農學部學生

三上福之助 埼玉

大阪府農務課技手

西端 善作 大阪

愛知縣立蒲郡農學校教諭

柳瀨 義衛 高知

自營

八田 植 滋賀

農林省青森種鶏場

山内 勇信 福島

自營

服部 仙三 愛知

岡山縣井原高等女學校教諭

山本 忠夫 神奈川

三重縣立尾鷲高等女學校 教諭

樋田 節雄 大分

昭和三三年五月卒業

愛知縣農林主事補

深井 寛 三重

自營

北川孝治郎 京都

廣島縣立深安實業學校教諭 藤田 正雄 廣島

農學科第五回

三十二名

昭和三四年三月卒業
 三重縣農事試驗場技手 伊東 馨 三重 宮城縣穀物檢查所古川支所 大河内恒夫 愛知
 農林省農務局米穀課 門司米穀事務所 井上 一巳 和歌山 宮城縣農務課技手 大城 清茂 沖繩
 滋賀縣蒲生郡農會技手 井野周太郎 京都 自營 岡本 勇 奈良
 滋賀縣立農事試驗場 井樋 信雄 佐賀 自營 岡谷 義雄 愛知

卒業生

一四三

卒業生

一四四

兵庫縣養父郡高柳村農業補習學校教諭	加藤 平壽	愛知	自營	野上富士夫	京都
滋賀縣立栗太農學校教諭	北村繁太郎	滋賀	大阪府泉南郡熊取村農會	信宗 虎夫	廣島
愛知縣牛田農學校	桑原 正三	愛知	長野縣農會技手	野村 千秋	長野
群馬縣農事山險場	木檜 忠夫	群馬	三重高等農林學校助手	廣瀨 清孝	石川
奈良市立第五實業補習學校教諭	小西 眞	奈良	三重縣四日市市立高等女學校	藤繩 慶夫	富山
奈良縣農事試驗場	笹岡 一郎	奈良	奈良縣農事試驗場	南元 檜司	奈良
臺南州嘉義郡水上庄	佐藤 其七	岐阜	滿洲縣岳城農業實習所	宮原 道明	廣島
明治製糖南靖工場	下井 友一	三重	農林省畜産試驗場	森榮左衛門	愛媛
愛知縣農事試驗場小麥試作地	鈴木 徹三	愛知	自營	森濱 重義	三重
愛知縣農務課技手	田中 助參	福井	愛知縣岡崎種鶏場	山田 實	和歌山
京都帝國大學農學部學生	土井 孫悅	山形	愛媛縣農商課	吉川 正信	京都
三重高等農林學校助手	西間木正巳	福島			
滋賀縣立虎姫中學校教諭					

農學科第六回

三十九名

昭和五年三月卒業

朝鮮江原道春川農業學校	阿部 一美	福岡	仙臺地方專賣局	楠 恆三	靜岡
神奈川縣立農事試驗場	磯部 次郎	神奈川	兵庫縣水上郡上久下村補習學校教諭	栗林 武男	茨城
岡山縣倉敷市大原農業研究所	一色 重夫	滋賀	岐阜縣惠那郡坂本村技手	小池 保	岐阜
山形縣穀物檢查所今泉支所今井	忠 新	新潟	香川縣立農事試驗場	米本 元信	三重
三重高等農林學校助手	今西 清	京都	農林省畜産試驗場	後藤 俊夫	愛知
自營	大河内秀樹	愛知	入營	齋藤 修三	岐阜
入營	奧野 貞雄	京都	入營	齋藤八十藏	三重
京都帝國大學農學部學生	柏 祐賢	富山	自營	四方 恒次	大阪
入營	金井 修	兵庫	農林省岡崎種鶏場	白水 透	宮崎
入營	龜井 昌直	三重	北海道札幌郡白石村厚別馬場牧場	關澤 乙吉	新潟
自營	河村 有江	廣島	三重縣農會	高木 保郎	岐阜
				田中 敏郎	三重

卒業生

一四五

農林省園藝試驗場 中川 春一 群馬
 同 畜産試驗場 中島 清見 長野
 茨城縣農事試驗場 中谷 壽 兵庫
 廣島縣立深安實業學校 中森 孝治 三重
 自營 長岡忠二郎 大阪
 自營 永田 盛一 兵庫
 名古屋地方專賣局 練尾 一雄 岡山
 自營 服部 一郎 愛知
 自營 日野 重三 愛媛
 兵市縣神崎郡 昭和五年五月卒業
 甘地村農業補習學校教諭 三重縣立宇治山田高等女學校教諭 木村泰次郎 靜岡

農業土木學科第一回 二十八名

大正十四年三月卒業
 山口縣立萩中學校教諭 岩本 益雄 愛媛
 岩手縣土木課技手 遠藤 靖 宮城
 石川縣耕地整理課技手 奧田 壽夫 三重
 東洋拓殖株式會社京城支店川合 久三 滋賀
 神奈川縣立農蠶學校教諭 川勝 洋三 京都

自營 刑部 精一 三重
 靜岡縣立安倍農學校教諭 古賀 菊次 山口
 千葉縣立旭農學校教諭 小山 操雄 兵庫
 朝鮮成興農學校教諭 酒井鉦一郎 愛知
 朝鮮慶尙北道農務課技手 清水 武雄 香川
 群馬縣立中條農學校教諭 鈴木 武臣 德島
 三重縣土木課技手 高倉貫一郎 三重
 朝鮮總督府殖産局土地改良部水利課 多賀 正三 滋賀
 青森縣耕地課技手 田上源八郎 三重
 大阪府耕地整理課技手 田原 耕三 三重
 名古屋市育英商業學校教諭齋 辰雄 德島
 東洋拓殖株式會社京城支店中島 辰 愛知

長野縣耕地整理課技手 林 桂 岐阜
 靜岡縣立中泉農學校教諭 東川 美雄 三重
 新潟縣耕地整理課技手 日比野文雄 愛知
 滋賀縣立長濱農學校教諭 福家 雄一 香川
 東洋拓殖株式會社京城支店牧野 潤二 山形
 三重縣土木課技手 松尾 直三 三重
 朝鮮全州農學校教諭 松本 貞一 三重
 朝鮮忠清北道產業課技手 嶺 滿龜 福岡
 石川縣耕地課技師 森 嘉門 三重
 福島縣立岩瀨農學校教諭 安田 次貞 愛知
 名古屋市東區笠寺町港東土地區劃整理組合事務所 山田 長作 愛知

卒業生

農業土木學科第二回

二十八名

一四八

大正十五年三月卒業

山梨縣立農林學校教諭 有吉 志良 福岡
 神井縣立坂井農學校教諭 伊藤 又一 福岡
 群馬縣立蠶絲學校教諭 境 (舊岩下) 次男 熊本
 宮城縣耕地整理課 遠藤 征二 宮城
 長野縣耕地整理課 尾崎 孝雄 愛知
 秋田縣耕地課 川口 襄三郎 三重
 愛知縣都市計畫課 工藤 延雄 岐阜
 北海道廳空知支廳 倉 小三郎 北海道
 奈良縣農林課 齋藤 辰雄 愛知
 朝鮮總督府殖産局水利課 櫻井 實 宮崎
 福岡縣立田川中學校教諭 堤 喬司 兵庫

新潟縣耕地整理課 手

(舊四村) 關 正一 富山

朝鮮總督府土地改良部開墾課 伊澤 武二 長野

山梨縣農商課 長谷 武雄 三重

福島縣耕地整理課 服部 榮三郎 三重

北海道廳河西支廳 濱本 良造 京都

大分縣立佐伯中學校教諭 藤井 芳雄 山口

朝鮮總督府土地改良部土地改良課 藤村 忠雄 山口

靜岡縣耕地課 古市 與一 三重

福岡縣耕地課 堀内 正利 福岡

北海道廳後志支廳 堀 美也雄 岐阜

米國加州アイグエス市 加州大學農學部學生 森山 明 東京

埼玉縣耕地整理課

山崎 爲夫 愛知

愛媛縣耕地整理課

川本 貴雄 三重

滋賀縣農務課

若出 由夫 三重

香川縣立木田農學校教諭

星野 豐平 香川

(死亡)

渡邊 小太 三重

大正十五年七月卒業

加茂仁三郎 靜岡

大正十五年五月卒業

(死亡)

農業土木學科第三回

三十六名

昭和二年三月卒業

自營 稻垣 茂 三重
 宮城縣耕地整理課 上島 克己 三重
 北海道土地改良課 榎本 松三郎 東京
 山形縣耕地整理課 織田 村師郎 山口
 靜岡縣耕地整理課 大塚 清司 靜岡
 農林省農務局耕地課 大西 多一 德島

富山縣耕地整理課 奧田 一郎 石川
 香川縣耕地整理課 柏井 益水 高知
 岐阜縣耕地課 川合 光夫 三重
 (死亡) 北川 俊次 三重
 三重高等農林學校助教授 小山 桂一 愛知
 神奈川縣立平塚農學校教諭 佐藤 紫郎 山形
 臺灣總督府土木部農業水利係 (三男改名) 芝田 敦雄 三重

卒業生

一四九

卒業生

一五〇

(死亡)

辻原 昌男 三重
 新潟縣耕地課技手 土井 利一 富山
 名古屋市育英商業學校教諭 中田 政武 三重
 朝鮮慶尚南道農務課技手 中森 悌二 滋賀
 臺南州大日本製糖株式會社 永原 實郎 三重
 秋田縣耕地整理課技手 西田 吾一 岐阜
 愛知縣耕地整理課技手 西 正夫 三重
 兵庫縣耕地整理課技手 早瀬 己之 石川
 (篠山出張所)
 岐阜縣耕地課技手 廣田延太郎 三重
 朝鮮殖産銀行 福元 一二 鹿兒島
 廣島縣耕地整理課技手 藤橋 九市 滋賀
 大阪府耕地整理課技手 松浦 圭三 大阪
 東洋拓殖株式會社京城支店宮下 功 長野

熊本縣耕地課技手

(死亡)

森賀 年秋 愛媛
 北海道網走支廳技手 山下鎌一郎 廣島
 岐阜縣耕地課技手 橫山 重義 福島
 朝鮮忠清南道農務課技手 芳山 久夫 愛知
 若林 郷夫 三重
 昭和二年四月卒業
 三重縣松阪町伊勢電鐵建設事務所 阿部春太郎 三重
 甲府市技手 石川 常雄 山梨
 靜岡縣都市計畫課 仙波 漸 愛媛
 地方委員會技手 藤本 和夫 三重
 滋賀縣耕地整理課技手 藤本 和夫 三重
 昭和二年五月卒業
 朝鮮京畿道農務課技手 坂本 敏夫 三重

農業土木學科第四回

三十二名

昭和三年三月卒業

埼玉縣耕地課技手 池田 誠常 石川
 朝鮮慶尚北道農務課技手 池田 義雄 靜岡
 大阪市役所土木部計畫課 石田 光平 大阪
 石川縣立津幡農實學校教諭 岩崎 繁雄 三重
 岐阜縣立安八農學校教諭 海野 榮一 三重
 石川縣耕地課技手 岡本 福三 石川
 愛媛縣立兩條農業學校教諭 岡本 義信 香川
 秋田縣耕地課技手 大島 精一 北海道
 高知縣耕地課技手 大西 正康 高知
 自營 北村 壽男 三重
 岩手縣岩谷堂町 小島万之丞 福島
 農業水利改良事務所技手 福島

農林省農務局耕地課 小島 平雄 廣島
 甲府市水道擴張課技手 小宮山靜藏 山梨
 群馬縣耕地課技手 駒田 勝 三重
 農林省農務局耕地課 佐倉 俊夫 三重
 奈良縣耕地整理課技手 西口 末郎 三重
 山形縣耕地課技手 鈴木 正次 三重
 大阪市土木部工務課 高宮 卯市 大阪
 福島縣會津農林學校教諭 田中 重平 新潟
 佐賀縣耕地課技手 土井 牧夫 長崎
 熊本縣耕地課技手 豐田 榮一 三重
 名古屋市立第三商業學校 西井 雅一 三重
 教諭 藤原 實 三重
 朝鮮忠清北道內務部產業課 藤原 實 三重

卒業生

一五一

卒業生

山口縣土木課技手 増野 政雄 山口 自營
 山本義三郎 兵庫
 朝鮮土地改良株式會社技手松尾 武記 長崎 秋田縣耕地課技手 山本 棄男 三重
 長崎縣立諫早農學校教諭 宮ヶ原 晋 鹿兒島 昭和三年五月卒業
 福岡縣耕地課技手 安永 治郎 福岡 宮崎縣立高鍋農學校教諭 貝増 利雄 三重
 宮城縣立栗原農學校教諭 山口 四郎 群馬 白營 松村 寛 高知

農業土木學科第五回

三十一名

昭和四年三月卒業

農林省農務局耕地課 荒井 末造 岐阜 三重高等農林學校助手 岩崎 祐一 三重
 三重縣耕地課技手 荒木 甚一 三重 兵庫縣耕地課技手 内田 隆 兵庫
 山形縣耕地課技手 冢本 忠信 三重 滋賀縣立今津中學校教諭 大庭 元則 靜岡
 長野縣上水内北部農學校教諭 小河原 田 長野
 長野縣耕地整理課技手 市川 康三 岐阜 京都府農務課耕地整理係 笠松 清 宮城
 鹿兒島縣農務課 伊藤 俊雄 福岡 入營 川口 幸村 三重

廣島縣耕地整理課技手

倉田 儀郎 三重

滋賀縣耕地整理課

日下 龜治 和歌山

岐阜縣耕地課

小島 盈 岐阜

栃木縣耕地課技手

前川德太郎 三重

臺灣總督府殖産局特産課

佐野 鏗爾 三重

樺太廳林務課

前田由之助 三重

三重縣耕地課技手

城野 橋雄 三重

愛知縣都市計畫課

牧 鎰之助 愛知

北海道廳上川支廳

大坊 吉則 岩手

朝鮮東洋拓殖株式會社

松井 重雄 兵庫

入營

高木 勝 北海道

朝鮮土地改良株式會社

真鍋 正行 香川

農林省農務局耕地課

高崎 恒夫 三重

朝鮮總督府土地改良部水利課

水谷 尙 三重

入營

外岡 敏雄 靜岡

朝鮮總督府土地改良部水利課

山手 壽人 福岡

靜岡縣立藤枝農學校教諭

永井 儀夫 兵庫

昭和四年四月卒業

森田宗二郎 三重

朝鮮江原道春川農學校教諭

長濱 昌英 福岡

三重高等農林學校助手

森田宗二郎 三重

大阪府耕地課技手

西山 清茂 三重

卒業生

卒業生

農業土木學科第六回

三十六名

一五四

昭和五年三月卒業

自營

新 重吉 鹿兒島

自營

片岡 善龜 高知

三重縣立河原田農學校教諭 家木 忠恪 三重

三重縣四日市々役所土木課 加藤千太郎 三重

朝鮮總督府土地改良部 水利課 咸 泰 亨 朝鮮

臺灣臺南州嘉義農林學校 石田 惣市 三重

京都府立木津農學校教諭 木原久次郎 京都

久保田一男 岐阜

朝鮮咸鏡北道稅務課 磯部五兵衛 三重

農林省農務局耕地課 農林省農務局耕地課 倉田 一郎 三重

酒井 德江 長野

滋賀縣耕地課 伊藤 貞三 三重

岐阜縣耕地課 靜岡縣耕地課 酒井 德江 長野

富山縣伏木町耕地整理組合 內山 勇 三重

農林省農務局耕地課 伊藤 博夫 三重

靜岡縣耕地課 埼玉縣耕地課 埼玉 崎玉

高知縣耕地課 上杉 勇 三重

高知縣耕地課 上杉 勇 三重

熊本縣土木課 熊本縣土木課 篠原 佑三 富山

富山縣伏木町耕地整理組合 內山 勇 三重

朝鮮總督府土地改良部 水利課 大泉 磯石 三重

富山縣耕地課 富山縣耕地課 島 明 富山

大阪府耕地整理課 技手 奧中武次郎 大阪

大阪府耕地整理課 技手 奧中武次郎 大阪

熊本縣立熊本農學校 熊本縣立熊本農學校 瀧本 一郎 兵庫

自營 中村 亮 長野

自營 中村 亮 長野

岐阜縣耕地課 岐阜縣耕地課 內藤 勇 愛知

滋賀縣立伊香農學校教諭 中尾 米市 大分

滋賀縣立伊香農學校教諭 中尾 米市 大分

島根縣立直江農學校 島根縣立直江農學校 八幡 卓 兵庫

三重縣勵精中學校 中川 武男 三重

自營 中川 武男 三重

自營

萩森 豐 愛媛

自營 萩森 豐 愛媛

昭和五年四月卒業 津市役所土木課 布谷 嘉明 三重

大分縣立高田高等女學校 橋本 勝 大分

自營 橋本 勝 大分

昭和五年五月卒業 朝鮮土地改良株式會社 福井 秀男 京都

自營 星野 義一 愛知

自營 星野 義一 愛知

自營

三ツ野由太郎 北海道

自營 三ツ野由太郎 北海道

自營

山村十木生 三重

自營 山村十木生 三重

自營

林學科第一回 二十三名

大正十四年三月卒業

自營

愛媛縣農林課 技手 古屋 武夫 群馬

帝室林野局盛岡出張所 技手 佐賀五代吉 秋田

高知縣立農業學校教諭 小西白太郎 奈良

自營 小西白太郎 奈良

帝室林野局名古屋支局 新城出張所 佐治 文哉 福井

大阪營林局計畫課 小林 義秀 山梨

自營 小林 義秀 山梨

自營

卒業生 一五五

卒業生

一五六

岡山縣立勝間田農林學校 教諭	佐藤 佐壽 愛媛	島根縣立益田農林學校教諭林	鎮雄 東京
自營	四方 公平 京都	茨城縣大子營林署技手	早藤 昌二 茨城
山梨縣山林課技手	(舊新保) 田島 義二 石川	自營	伴 一雄 三重
三重縣林務課技手	鳥林 理英 滋賀	秋田營林局酒田營林署	古谷 俊雄 東京
帝室林野局諏訪出張所	關 正三 栃木	岐阜縣立加茂農林學校教諭鈎	俊一 滋賀
神奈川縣技手	高津戸益美 栃木	北海道函館營林區署技手	松井英太郎 大阪
朝鮮總督府殖産局山林課 技手	高山 林 兵庫	自營	松岡 英二 福岡
福島縣立會津農林學校教諭	田村幸次郎 京都	樺太廳臨時森林作業所	三崎 龍二 三重
自營	畑 石治 福岡	自營	山口二三生 三重

林學科第二回

三十三名

大正十五年三月卒業

朝鮮總督府林業試驗場

穴吹規矩士 香川

朝鮮惠山鎮營林署

岩本 二郎 島根

熊本縣農林課技手

井出 稅 靜岡

秋田營林局扇田營林署	石川 利治 東京	京都府山林課	內藤 久一 京都
宮崎縣立宮崎農學校教諭	岡田 廣一 德島	朝鮮咸鏡北道茂山營林署	長尾 正和 高知
北海道拓殖部林務課技手	岡野 行雄 和歌山	德島縣立農業學校教諭	中村 當一 香川
靜岡縣山林課技手	鴛淵 滿雄 長崎	樺太廳農林部林務課技手	中山 利郎 三重
自營	川越 進 宮崎	石川縣林務課技手	林 茂 福井
三重高等農林學校助手	神庭 英 島根	秋田營林局技手	原 金一 岐阜
自營	木下 義統 鳥取	山梨縣山林課技手	深澤 正男 山梨
高知縣林務課技手	木曾 龍雄 廣島	島根縣立川本農蠶學校教諭	福田 港 熊本
秋田營林局造林課	佐々木確治 秋田	東京營林局	逸見 雪夫 岡山
自營	曾根 正孝 富山	朝鮮總督府山林部林務課	本田 親人 宮崎
德島縣農林課技手	武田 要 德島	大阪營林局	松田 愿 山口
大阪府農務課技手	辰巳 俊吉 奈良	(死亡)	松本 幸男 愛媛
自營	附田 文治 青森	山口縣林務課技手	柳井 元一 岡山

卒業生

一五七

卒業生

愛知縣林務課技手 矢野 登香川
(死亡) 山本 二雄 奈良
山梨縣立峽北農學校教諭 吉本今太郎 靜岡

大正十五年五月卒業
山口縣林務課

久富 運吉 山口

一五八

林學科第三回

二十五名

昭和二年三月卒業

三重縣林務課技手 安達 瀧雄 石川
北海道虻田郡俱知安林業事務所 伊藤 照光 愛媛
秋田縣大曲營林署 岩山 宇内 宮城
朝鮮總督府山林部山林課 梅原 文夫 大分
兵庫縣農務課林務係技手 越智 一吉 愛媛
山口縣林務課 鬼武 幹亮 山口
岡山縣林務課技手 垣野太圭次郎 三重

朝鮮慶尙北道山林課技手 加藤 嘉藏 奈良
自營 齊藤 市三 三重
岡山縣林務課技手 砂走 正義 鹿兒島
帝室林野局盛岡出張所 田中 巖 京都
新潟縣林務課技手 田部 繁昌 東京
北海道紋別郡遠輕營林區分署技手 中澤 和雄 和歌山
大阪營林局山崎營林署 中谷喜久二郎 石川
自營 濱田 一夫 高知

三重縣立農林學校教諭 松原 松男 長野
高知營林局利用課土木係 萬濃 秀男 三重
自營 溝口 梯次 長野
秋田縣林務課技手 森岡 潤吉 高知
和歌山縣林務課技手 森倉 良溢 三重
靜岡縣立引佐農學校教諭 山川浩太郎 三重

兵庫縣農務課技手 湯淺 巖雄 香川
昭和二年四月卒業
盲啞學校教師(大阪府) 大里 喜重 大阪
自營 草田 得三 和歌山
樺太廳林務課技手 谷口 貢 福井

林學科第四回

三十一名

昭和三年三月卒業

奈良縣林務課技手 飯田 忠一 奈良
廣島縣山林課 井上 源憲 廣島
佐賀縣東松浦郡七山村林業技手 井ノ口三郎 三重
高知營林局 白井 茂 山形

朝鮮全羅北道技手 大久保昌之 石川
沖繩縣山林會技手 川滿 惠元 沖繩
岐阜縣船津營林署 片山 佐又 香川
愛媛縣山林煙害防止地方駐在所事務所 國田 實廣 愛媛
朝鮮咸鏡北道茂山營林署 黒井 良勝 東京

卒業生

一五九

卒業生

青森營林局造林課	小久保 壽 愛知	臺灣高雄州廳勸業課	馬場 瑞穂 福岡
京都帝國大學農學部林學科 學生	小瀧 武夫 福島	帝室林野局札幌支局技手	松島 盛大 三重
愛媛縣林務課技手	後藤 旭 愛知	三重縣林務課技手	三達 雲平 三重
自營	三枝 壽雄 兵庫	香川縣農林課技手	滿谷 五三 岡山
大阪營林局利用課	佐藤 三郎 秋田	自營	村上 章 愛知
福岡縣貝鳴鑛業株式會社 (舊瀨川)	笹栗 三二 福岡	北海道室蘭營林區分署技手	森田 宿禰 長崎
朝鮮忠清北道林務課	白勢 修 新潟	神宮司廳林務課技手	山本市兵衛 奈良
高知縣林務課技手	高橋 渡 高知	自營	和田忠之亮 三重
京都帝國大學農學部林學科 學生	田代 純 兵庫	昭和三三年五月卒業	
北海道釧路營林區署技手	立川 全夫 靜岡	朝鮮忠清南道林務課	黒岩 實 佐賀
樺太廳農林部林業課	因 秀成 福岡	神奈川縣立農林學校教諭	後藤 鋼 愛知
自營	中川 重男 京都		

林學科第五回

二十三名

昭和四年三月卒業

北海道旭川營林區署	足立 行夫 岐阜	東京營林局造林課	中島海老藏 京都
樺太廳林務課	(舊大石) 増田 勝治 靜岡	秋田縣林務課技手	中谷 邦武 岐阜
入營	大辻 利勝 奈良	秋田營林局利用課	中村 久 三重
兵庫縣林務課	小木曾善三郎 愛知	石川縣農林課林務係技手	坪野 陽一 愛知
三重高等農林學校助手	川口 了 三重	自營	西井伊兵衛 三重
自營	川手 治郎 廣島	岩手縣林務課技手	野本 傳 福岡
島根縣山林課技手	小池 敏夫 島根	禪島縣浪江營林署	服部 正直 三重
北海道野付牛營林區署技手	鈴木 平治 福島	青森營林局田名部營林署	平野 利一 和歌山
(死亡)	鈴木 愷 愛知	青森營林局增川營林署	深谷 亮治 岐阜
三重縣山林會	田村 義雄 三重	京都府山林課技手	福島 昇 福井
入營	坪坂 博 大分	岩手縣立水澤農學校教諭	普光江左右吉 高知
卒業生		大阪營林局	森 三郎 佐賀

卒業生

林學科第六回

三十七名

一六二

昭和五年三月卒業

自營

木根 陽三 和歌山

秋田縣大館營林署

阿部 駒一 三重

自營

倉田喜太郎 三重

自營

石井 英男 和歌山

自營

近藤 勇 三重

自營

伊藤彌右衛門愛媛

自營

杉浦 文夫 愛知

自營

上原 正敏 長崎

三重縣農商課

杉本榮之丞 三重

自營

小穴 信一 長野

三重縣林務課

杉森 一郎 三重

大阪營林局利用課

桶野 良助 長野

自營

高野 光衛 長野

自營

片岡 七夫 三重

北海道網走營林區

伊達 覺一 廣島

長野縣西筑摩郡
帝室林野局妻籠出張所

金田 友惠 福島

青森營林局利用課

中村 繁一 香川

高知縣大橋營林署

願興寺竹男 三重

和歌山縣林務課

中村 丈夫 兵庫

自營

北川 孝三 三重

愛知縣林務課

中村 道孝 宮崎

東京營林局

木津 進 新潟

自營

西垣 二郎 新潟

北海道足寄郡陸別營林區署 西川 正信 愛媛

自營

梁田增次郎 秋田

秋田縣山本郡能代營林署 野中 淳治 三重

和歌山縣林務課

村山 金重 福岡

高知縣安藝郡奈半利營林署橋詰 敏夫 高知

奈良縣廳內大和山林會

山本 安秋 香川

三重縣林務課

長谷川 了 三重

三重縣北牟婁郡赤羽村森林組合

橫山 義雄 福島

岩手縣立花卷農學校

邊見 芳夫 神奈川

自營

吉村 寬逸 佐賀

山形縣林務課

前川 勝巳 三重

昭和五年五月卒業

平島 直材 宮崎

自營

松山 幹之 滋賀

三重高等農林學校助手

百田林太郎 三重

三重縣山林會

農學科選科

大正十五年三月修了

昭和二年三月修了

東京府商工課主事補

別處 初幸 愛媛

自營

今井 武 三重

自營

野村 安衛 岐阜

卒業生

一六三

卒業生

一六四

昭和二年四月修了

昭和四年三月修了

自營

花谷

郁三重

自營

平井

宏大阪

農業土木學科選科

大正十四年三月修了

大正十五年三月修了

福岡縣耕地課

山本三千三

三重

三重縣伊那古村公民學校

石田

巖三重

林學科選科

大正十五年三月修了

昭和五年三月修了

自營

日野 雅亮

長野

三重縣林務課

小林

英生 三重

第九 敷地建物

所要別	坪數	所	在	地
校舍敷地	一五、七四一坪	三重縣	河藝郡	栗真村
實驗農場	四七、八二九	三重縣	津市上濱町	
	四、二五三	三重縣	河藝郡	栗真村
演習林	一、三七三、五八八	三重縣	一志郡	八幡村
合計	一、四四一、四一一			

建物

種別	構造	棟數	坪數	(延坪)
本館	木造二階建	一		七七八坪
實驗室	木造平家建	五		七二〇
御眞影奉安殿	鐵筋コンクリート平家建	一		一、七八
講堂	木造平家建	一		一二九

敷地建物

一六五

圖書館	木造 二階 一部平家建	一	九〇
書庫	鐵筋コンクリート 二階建	一	四八
倉庫	煉瓦造 二階建	一	五六
武道場	木造 平家建	一	八四
弓道場	同	二	二一
雨天體操場	同	一	一〇五
特別研究室	木造 二階建	一	九〇
藥品庫	煉瓦造 平家建	一	一〇、五八六
有毒瓦斯處理室	鐵筋コンクリート 平家建	一	五
瓦斯發生室	木造 平家建	一	四
電池室	同	一	三
養蠶室	木造 二階建	三	一八四、四
乾繭室	木造 平家建	一	八
蠶種貯藏庫	鐵筋コンクリート 平家建	一	九
硝子室	煉瓦造硝子張 平家建	一	八

温室及同機關室	鐵骨及鐵筋コンクリート 平家建	二	四四
固定温床	煉瓦造硝子張 平家建	一	一四
寄宿舎及附屬建物	木造 二階建 一部平家建	二	四六五、三七三
小使室、物置、及便所 渡廊下等	木造 平家建	二	二四一、四七七
農場管理室及實習室	同	一	九五
作業室及收納室	同	一	九五
殺物庫	同	一	三五
農業機械室	同	一	一〇〇
農産製造室	同	一	五〇
林産製造室	同	一	三五
酪農室	同	一	二〇
飼料室	同	一	三六
サイロ	煉瓦 建	一	一箇
牛舎	木造 平家建	一	四一、二五
馬舎	同	一	三五、七五

堆肥舍	木造平家建	二	七五
羊舍	同	一	一〇
鶏舍	同	一	二七
豚舍	同	一	一八、七五
煙室	鐵筋コンクリート平家建	一	二
樹苗消毒室	同	一	二
作物栽培實驗室	木造平家建	一	二一
農場員結所及便所		三	二四
モーター室	鐵筋コンクリート及木造平家建	二	三、五
演習林寄宿舍	木造二階建及平家建	六	二二〇、三七五
官舍	同	四	一〇七
官舍物置	木造平家建	四	一七
合計			四、一八〇坪二四一

附 錄

三重高等農林學校校友會規則

- 第一條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ厚クシ智徳ヲ磨キ心身ヲ練リ本校ノ校風ヲ發揮スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ三重高等農林學校校友會ト稱ス
- 第三條 本會ノ事務所ハ之ヲ三重高等農林學校内ニ設ク
- 第四條 本會ノ會員ハ左ノ四種トス
- 一、通常會員 本校在學生
 - 二、特別會員 本校卒業生、本校修業生
 - 三、贊助會員 本校職員及本校縁故者
 - 四、名譽會員 特ニ本會ニ功勞アル人ニシテ會長ノ推薦ニ係ル者
- 第五條 本會ノ目的ヲ達セン爲左ノ八部ヲ置ク

- 學 藝 部
- 劍 道 部
- 柔 道 部
- 野 球 部
- 庭 球 部
- 水 泳 部
- 諸 技 部
- 庶 務 部

前項中學藝部ハ講演會、談話會ノ開催及會誌編纂等ノコトヲ、諸技部ハ競技、弓術、蹴球、登山等ノコトヲ、庶務部ハ庶務及會計ノコトヲ掌ル

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會 長 一 名
- 副會長 一 名

部 長 各部一名

評議員 若干名

委 員 各部若干名

必要ニ應シ各部ニ副部長ヲ置クコトヲ得

會長ハ本校校長ヲ推戴ス

副會長、部長、副部長、評議員ハ贊助會員中ニ就キ會長之ヲ選任ス

委員ハ通常會員中ヨリ互選ニ依リ候補者ヲ定メ會長之ヲ命ス

第七條 役員ノ職務ハ左ノ如シ

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

部長ハ會長ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部ノ事務ヲ掌理ス副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

評議員ハ役員會ニ列席シ意見ヲ述ヘ議決ニ參與ス

委員ハ部長ノ指揮ニ從ヒ其ノ部ノ事務ニ從事ス

委員中役員會ニ列席シ意見ヲ述ヘ議決ニ參與スルモノハ各部三名トス

第八條 會長必要アリト認ムルトキハ庶務部ニ屬スル事務ヲ本校職員ニ囑託スルコトヲ得

第九條 副會長以下役員ノ任期ハ一箇年トシ毎年二月之ヲ選任ス但シ缺員ヲ生シタルトキハ隨時之ヲ選任スルコトアルヘシ此ノ場合ノ任期ハ前任者ノ殘任期トス

第十條 左ノ事項ハ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

- 一、規則及細則ノ制定改廢ニ關スル事項
- 二、豫算及決算ニ關スル事項
- 三、運動會ニ關スル事項
- 四、其ノ他會長ニ於テ重要ト認ムル事項

第十一條 役員會ハ會長之ヲ召集ス

第十二條 役員會ハ總役員ノ三分ノ二以上出席スルニアラサレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 役員會ノ議事ハ出席者ノ三分二以上ノ賛成ヲ得テ之ヲ決ス

第十四條 本會ノ經費ハ會費、寄附金及其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

- 一、通常會員ハ入會ノ際入會金トシテ金貳圓ヲ納ムルモノトス
 - 二、通常會員ハ會費トシテ每學期金參圓ヲ本校授業料納付期ニ於テ納ムルモノトス
 - 三、特別會員ハ年額會費トシテ毎年十一月金貳圓又ハ終身會費トシテ一時ニ金貳拾圓ヲ納ムルモノトス但シ終身會費ハ二回ニ金拾圓宛分納スルコトヲ得終身會費完納ニ至ルマテハ每年金貳圓ヲ納ムルモノトス但シ終身會費納入ノ年度ハ此ノ限ニ在ラス
 - 四、在校替助會員ハ毎月月俸額ノ千分ノ五ヲ出金スルモノトス
- 一旦納付シタル會費ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

第十五條 本會ノ會計年度ハ毎年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル

第十六條 本會ノ歳入歳出ノ決算ハ次年度ノ始ニ於テ之ヲ報告ス

第十七條 會員ニシテ不都合ノ行爲アリタリト認ムル者ハ役員會ノ議決ニヨリ除名スルコトアルヘシ

第十八條 本會ニ基本金ヲ置ク基本金ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十九條 本則施行ニ關スル細則ハ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム但シ各部ニ關スル細則ハ會長ノ認可ヲ受ケ部長之ヲ定ムルコトヲ得

附 則

第十四條 第一項、第三項ノ改正ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

三重高等農林學校校友會基本金規則

本會規則第十八條ニ依リ基本金ニ關スル規則左ノ通之ヲ定ム

第一條 基本金ハ左記各號ノ一二當ルモノヲ以テ之ニ充ツ

一、毎年度歳入歳出決算剩餘金

一、終身會費 但シ毎回納入ノ五分ノ四ノ金額

一、基本金ヨリ生スル利子

一、寄附金 但シ費途ヲ指定シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

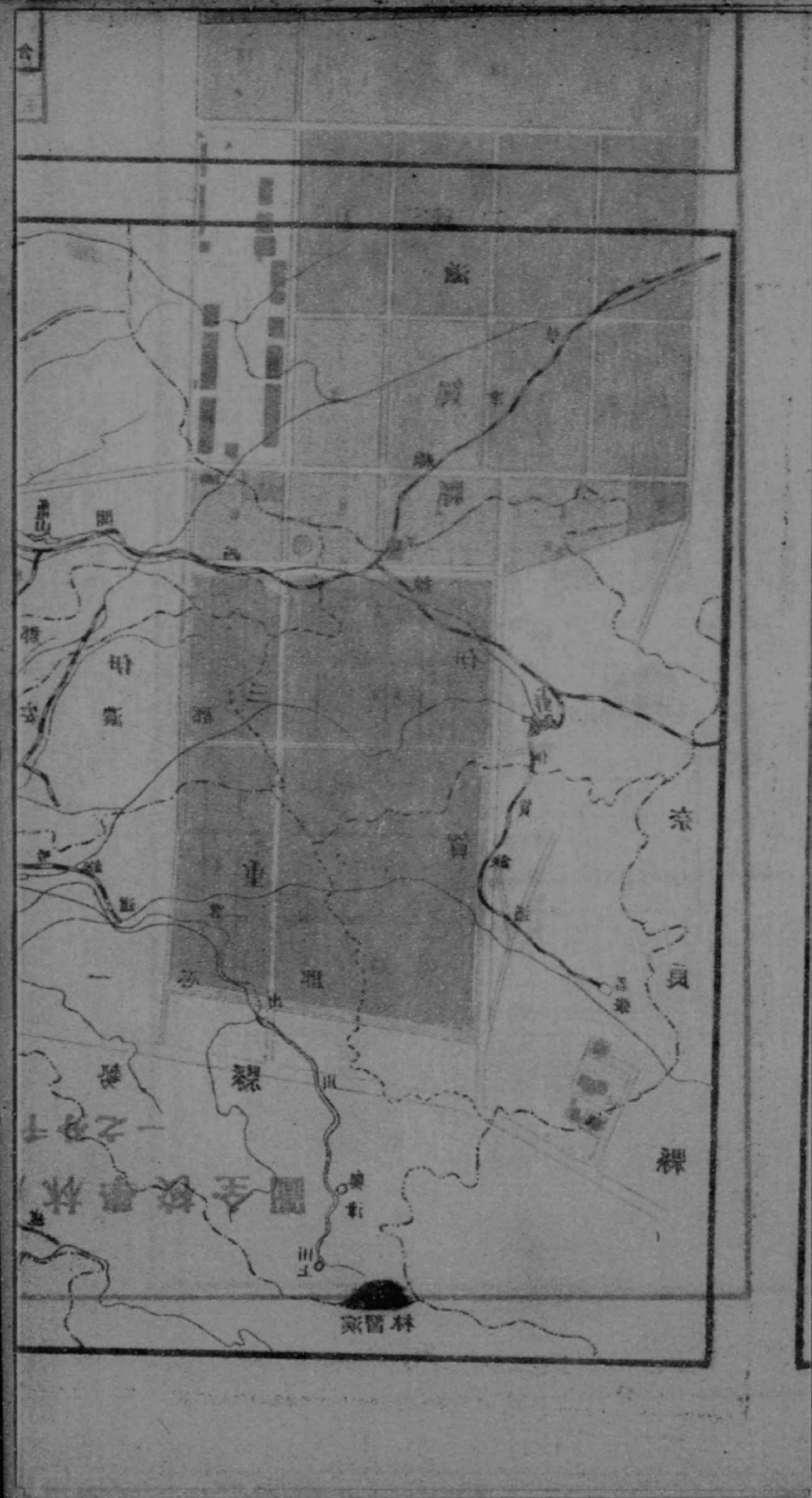
第二條 基本金ハ左ノ場合ノ外之ヲ支出スルコトヲ得ス

一、通常會計ニ著シク不足ヲ生シタル場合

二、本會ノ重大緊要ナル臨時ノ事業ニシテ其ノ年度經常費ヲ以テ施行シ得サル場合

前項第一號ノ場合ハ役員會ノ議決ヲ經テ其ノ年度ノ利子ノ一部又ハ全部ヲ支出スルコトヲ得但シ基本金額壹萬圓ニ達シタル後ニ限ル前項第二號ノ場合ハ役員會ノ議決ヲ經テ元金ノ一部ヲ支出スルコトヲ得

第三條 基本金ハ之ヲ郵便貯金又ハ確實ナル銀行預金若ハ有價證券トシテ會長之ヲ保管スルモノトス



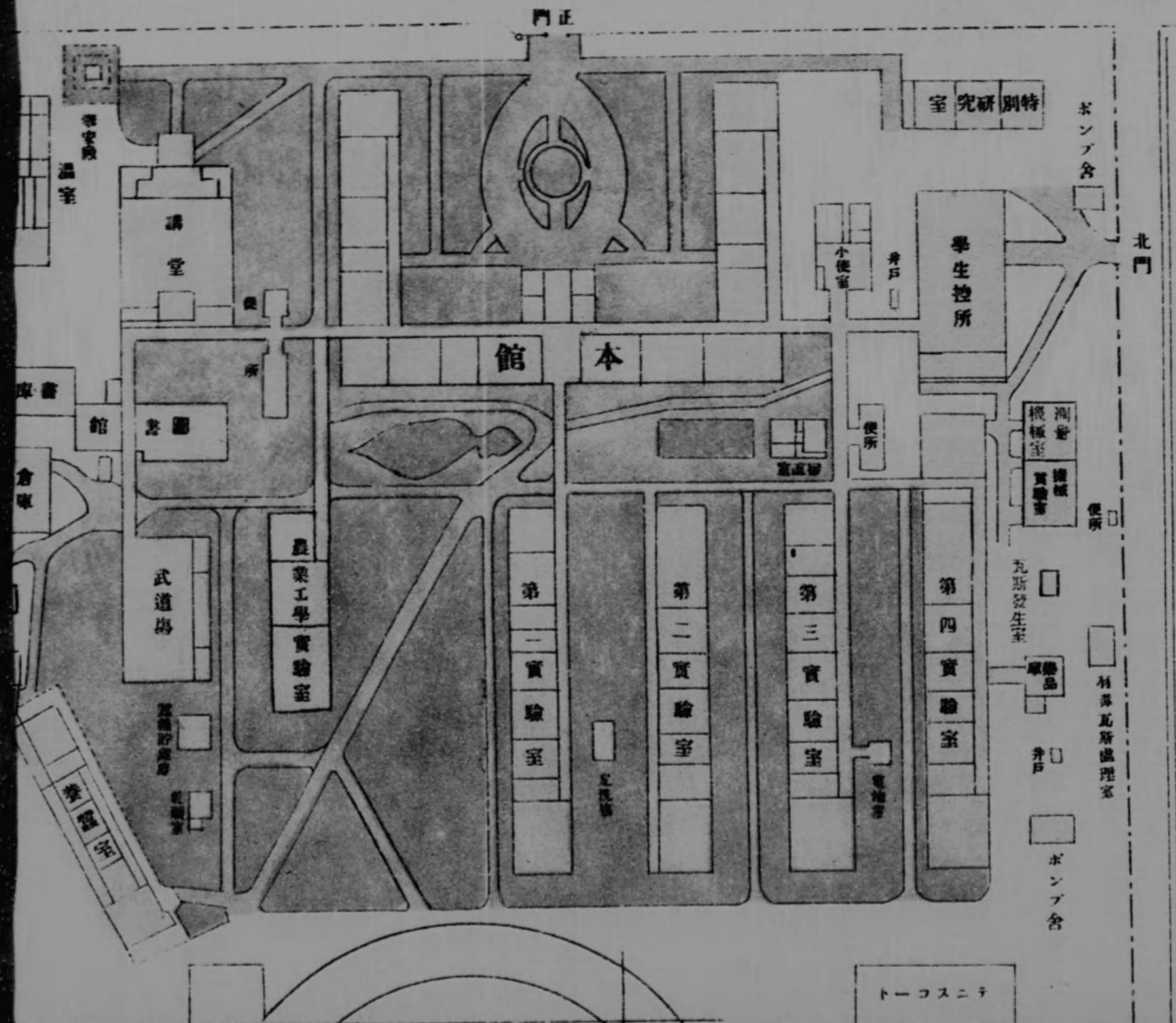
附錄

附則

第四條 本規則ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

三重重高農林學校建校

縮尺二千分之一



三重重高農林學校全校圖

縮尺五千分之一



三重大等農林學校建校配置圖

縮尺二千分之一

